

治安維持法案特別委員會會議事速記録第四號

大正十四年三月十七日(火曜日)午前十時
三十七分開會

○委員長(公爵二條厚基君) 是カラ開會イ
タシマス

○子爵伊東祐弘君 私ノハ甚ダ小サイ所デ
ゴザイマスガ、條文ノ第七條ノ施行區域ト
云フ所デアリマス、此施行區域ト云フノハ
甚ダ誤トシテ居ルヤウデゴザイマスガ、多
分刑法ノ帝國ト云フ意味ヲラウト思ヒマス
ガ、是ハ殊更ニ明カニ御表シニナラヌノハ
何カ適用其他ノ關係ニ於テ御不便ガアルノ
デアリマスガ、其點ヲ一ツ御伺ヒ致シマス
○政府委員(山岡萬之助君) 大體ノ御趣旨
ノヤウニ帝國ヲ基礎ト致シ居ルノデアリマ
スルガ、我國ノ今日ノ帝國ト云フノガ廣ク
ナッテ居リマシテ、普通法律ハ内地即チ日
本ト云フ範圍ニノミ行ハレマスノデ、ソコ
デ朝鮮、臺灣、關東州ト云フモノガアルノ
デアリマス、ソレハ外國デアリマセヌカラ
シテ本法施行區域内ト言表ハスト云フト、
朝鮮、臺灣、關東州ノ如キガ這入リマス、
帝國外ト申シマス、朝鮮、臺灣、關東州
ハ包含イタシマセヌ、稍ニ疑義ヲ生ジマス
ルカラ、ソコデ本法施行區域外ト云フ字ヲ
特ニ用キタノデアリマス、ソレ以上ノ別段
ノ理由ハゴザイマセヌ

○男爵田健治郎君 チョット今政府委員ノ
御答ニ付テ少シ疑義ガアリマスカラ御尋ネ
シテ置キマス、朝鮮、臺灣、關東州ハ無論
默テ居ッテハ施行區域外デアリマスガ、併
シ例ヘテ見ルト朝鮮臺灣ニ於テ犯シタ者ガ
内地ニ於テ之ヲ適用サレルト云フノデアリ
マセウカ、朝鮮臺灣ノ裁判所ニ於テ此法ヲ

適用スルト云フコトデハナササウニ思ハレ
ル、唯ソコニ又一點ノ疑ガアルノハ、朝鮮

ハ少シ違ッタカモ知レマセヌガ、臺灣關東州
或ハ樺太ナルモノハ矢張り勅令ヲ以テ法律
ヲ施行スルト云フコトヲナスコトニナッテ
居ルノデアリマス、ソレデ治安維持法ヲ臺
灣ニ施行スルトカ、樺太ニ施行スルト云フ
コトニナレバ、當然施行スルトコトニナル、
ソレヲ若シ出サナカッタナラバ、即チ之ニナ
ルノデスガ、併シ其場合ニハ臺灣ニ於テ適
用ハアルノデアリマセウカ、ナイノデスリ
マセウカ、臺灣ニ於テ犯シタ者ガ内地ニ來
レバヤルト云フノデアリマセウカ、其點ノ區
別ヲ、詰リ言フド臺灣デ若シ此法律ヲ施行
スルト云フ勅令ガ出レバ無論論ハナイ、ソ
レノ出ナイ場合ニ於テモ臺灣デ犯シタ者ガ
内地ニ來タヤルト云フノデアリマセウカ、
臺灣ノ裁判所デアルトハドウモ見エヌヤウ
デアリマスガ、其區別ヲ一ツ……

○政府委員(山岡萬之助君) 大體御趣旨ノ
如ク、是ハ第七條ハ朝鮮臺灣等デ犯シタ場
合ニ、臺灣朝鮮等デ犯罪ヲシタ者ヲ内地ニ
於テ罰スル、斯ウ云フ趣旨デアリマシテ、即
チ臺灣ニ此法律ガ行ハレルト云フ意味デハ
ナイノデ、臺灣朝鮮關東州等ニ於テ此法律
ヲ行ハント致シマスレバ、更ニ勅令ヲ以テ
スルカ、或ハ制令律令等ヲ以テ別ニ法ヲ立
テマスカ致シマセヌケレバ、朝鮮臺灣ノ法
律トハナラヌノデアリマス、御趣旨ノ大體
通リデアリマス

○男爵田健治郎君 サウスルト臺灣ニ於テ
此法ヲ犯シタ者ガ内地ニ來レバ内地デ之ヲ
適用シテ罰スル、斯ウ云フ意味ト心得テ

宜イノデアリマスガ

○政府委員(山岡萬之助君) 左様デゴザイ
マス

○委員長(公爵二條厚基君) 御質疑モ餘リ
ナイヤウニ見受ケマスガ……

○男爵田健治郎君 チョットソレカラモウ
少シ……是モ司法省ノ政府委員カ御答ヘ下
スッテ宜シウゴザイマスガ附則ニ大正十二
年勅令四百三號ハ廢止ストアリマスガ、即
チ此治安維持令、緊急勅令ノ治安維持令デ
アリマスガ、此維持令ヲ犯シタ即チ參考書
ニ依ッテ御廻シニナッテ過激ヲ宣傳シタ者
ガ、今特ニ豫審中デアルト云フノモ大分ニ
アッタイウデアリマスガ、サウスルト云フ
ト刑ノ確定マデニハ餘程距ッテ居ルノデア
リマスガ、所ガ此根本ノ四百三號ノ緊急勅
令ガ廢セラレルト云フト、當然是ハマア刑
法ノ廢止ト同ジ譯デアリマスカラ、其犯罪
ニ依ッテ豫審中ニアル人ハ無罪ニナルト云
フコトニナルデアラウト思ヒマス、少クト
モ免訴ニナルト云フコトニナルデアラウト
思ヒマスガ、ソレハ果シテサウ云フ意味デ
アリマセウカ、唯サウスルト云フト、豫審
ガ滯ッテ居ッタ爲ニ、犯罪人ガサウナラバ非
常ナ仕合セヲスル、而シテサウ云フ罪ヲ犯
シタ者モ刑ノ廢止ニ依ッテ、即チ刑デヤナ
イ、此緊急勅令ノ廢止ニ依ッテ免カレル、
是ハ免レルノニ何モ不思議ハナイト私ハ思
ヒマスガ、今豫審中ノ者ガ皆ソレガ爲ニ免
訴ニナリマスガ、御尋ネ致シマス、調査ガ
審査ガ訊問ガ涉ラヌ爲ニ僥倖ヲ得タト云フ
ヤウナ結果ニナルノデアリマセウカ、ソレ
ハドウ云フコトデアリマセウカ

○政府委員(山岡萬之助君) 其點ハ此刑法
ノ第六條ノ問題ニナリマシテ、犯罪後ニ於
キマシテ法律ニ變更ノアリマス時ハ、兩法
ヲ比較イタシマシテ輕キモノヲ適用スルト
云フコトニナリマスノデ、結局此兩者ヲ比
較イタシマシテ、輕イ方ニ致シタノデアリ
マスカラ、各本條ヲ引合セマシテ適用ガア
リマスノデアリマス、依ッテ免訴ニハナラ
ヌノデゴザイマス、六條ニ依リマシテ新舊
兩者ノ比較ヲ致シテ然ル後ニ處分ヲ致シマ
ス

○男爵田健治郎君 尙ホ其點ヲモウ少シ
ハッキリ御答ヲ願ヒマス、此治安維持令ト
申スモノノ箇條ト云フモノハ出版通信其他
何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハズ、暴行騷擾
其他生命身體若クハ財産ニ危害ヲ及ボ
スベキ犯罪ヲ宣傳シ治安秩序ヲ紊亂スル目
的ヲ以テ治安ヲ害スル事項ヲ流布シ、又ハ
人心ヲ惑亂スル目的ヲ以テ流言蜚語ヲナシ
タル者ハ、懲役十年以下トナッテ居ルノデ
アリマシテ、所ガ今度ノ治安維持法ハ餘程
箇條ガ違フ、此治安維持法ト前ノ治安維持
令ト比ベテ見ルト、治安維持令ノ方ガ寧ロ
餘程廣イヤウニモ見エマス、事柄ニ於テモ
若クハ方法ニ於テモ流布スルトカ、流言蜚
語ヲシタト云フヤウナコトガ方法又目的、
犯罪ノ事柄デモ治安秩序ヲ紊亂スルト云フ
ヤウナコトニナッテ居リマス、所ガ此治安
維持法ノ方ハ國體ヲ變革シ、私有財産制度
ヲ否認スルト云フコトノ目的以外ニハ、一
ツモナイノデアリマスカラ、實質ガ違フト
云フコトト、而シテ又其行爲モ協議スル、結
社ヲスル、煽動ヲスル、此三ツニ限ッテ居

ルノデアリマスカラ、此流布トカ流言蜚語トカト云フモノノ、之ニ直ニ當ルハ思ハレナイ、サウシテ見ルト云フト此緊急勅令ノ治安維持令ヲ廢セラレタ後ニ、之ノ犯罪トシテ監獄中ニナッテ居ル者ハ、此新タナ治安維持法ニ向テ觸レルト云フ項ガアレバ、是ハ今ノ御説ノ通り比較シテ輕キ方ニ行クト云フノ宜シウゴザイマセウガ、併シ犯罪ノ目的ノモノノ範圍ガ違フ、而シテ手段モ大ニ違フ、斯ウ云フコトニナルト云フト、之ニビタト嵌タモノデナケレバ當然免訴ニナルト云フコトニナラウト思ヒマス、果シテ左様デアリマセウカ、ソレニスルト云フト、矢張り私ガ初ニ疑フ懷イタ如ク、幸ニ豫審ガ長引イタ爲ニ大變ニ御蔭ヲ被タト云フ結果ニナルコトハ、矢張り免レナイノデアラウト思ヒマスガ、果シテ左様ナ譯デアリマセウカ

○政府委員(山岡萬之助君) 御尤モナ御質問デゴザイマシテ兩者ヲ比較イタシマススト云フト、目的ノ點ニ於テ相違ヲ致シテ居リマス又行爲ノ方面ニ於キマシテモ違フテ居リマス、治安維持令ノ方ノ又以下ハ全然本案ニナイコトデアリマス、依ッテ此法律ヲ廢止イタシマスレバ、此治安維持令ニ又ハ人心ヲ惑亂スル目的ヲ以テ流言浮説ヲナシ、此法ハ結局警察犯處罰令アタリデ極ク輕イモノニ適用ヲ受ケルト云フヤウナコトニナッテ居リマスノデ、其事ノナイ限リハ無罪免訴ニナル譯デアリマス、今日豫審中ニナッテ居リマスモノハ多クハ、重イ罪デアリマス、矢張り此無政府主義共產主義ト云フタコトノ部分ガ大部分デゴザイマス、日本共產黨ノ如キハ共產主義ヲ基礎ト致シマシテ、ソレデ此法案ニ抵觸スルコトニナリマス、今日豫審ニ係ッテ居ル大部分ハ、新法ト比較即チ本法ト比較ガ出來ルモノト考ヘ

マス、本案ト比較ノ出來ナイモノハ結局御説ノ如ク免訴無罪ニスルノ外ハナイノデアリマス、ソコデア施行期日ノ問題等モ衆議院デ多少問題ニナリマシタガ、結局本法ハ公布ノ日ヨリ二十日間デ效力ヲ生ズ、是デ宜イト云フ意味デ今日迄來テ居ル譯デアリマス、只重大ナル罪ハ決シテ釋放セラレルコトニナラヌノデアリマス

○岡喜七郎君 先達ッテ私ハ司法官ガ法ヲ適用スル上ニ於テ十分ナル嚴肅ノ處斷ヲ願ヒタイト云フコトヲ司法大臣ニ申シテ置キマシタガ、尙ホ希望ノ二政府ニ御注意ヲ願ヒタイコトガアルノデアリマス、ソレハ實際ニ斯ウ云フ取締法ヲ適用シマスル上ニ於テ、往々直接ニ當局者同志ノ間ニ見ル所ヲ異ニシテ、迅速ニ運バナイ場合ガ多イノデアリマス、又斯ウ云フ取締法ニ屬スルモノハ、成ル可ク迅速ニ處斷スベキモノハ處斷スルト云フコトガ、目的ヲ達スル第一ノ要素デアラウト考ヘルノデアリマス、此點ニ於キマシテハ勿論政府トシテハ扞格ノアル筈ハナイノデアリマスケレドモ、段々下方ニ參リマスルト往々意見ヲ異ニシタリ、甚ダ遲延スル場合ガ多イ、サウ云フコトノナイヤウニ將來ハ成可ク迅速ニ、斯ウ云フコトハ處斷ヲサレルト云フコトニ御留意ヲ願ヒタイト、考ヘマスルノガ勿論御存存ハアルマイト思ヒマスガ、其邊ノ御考ヲナヨト承ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(小川平吉君) 是モ御尤モノ御注意ト考ヘマス、デ今回ハ斯ル特別ノ法律ヲ作ッテ、ドウカシテ此共產主義無政府主義ノヤウナ者ヲ撲滅シヤウト云フ考ヘデ、本法ヲ拵ヘタノデアリマスカラ、唯今ノ御注意ノヤウナ趣意ハ十分ニ體シマシテ、敏速ニ又各方面ノ連絡ヲ能ク取ッテ、法ノ目的ヲ十分達スルヤウニ努力スル考ヘデ居リマス

○男爵福原俊九君 先達ッテ此案ノ御説明ノ時ニ刑期ヲ長クシタコトニ付テノ理由ノ一ツトシテ、ソレハ行刑所ニ長ク置ケバ、ソレハ自然思想改善ニナル、其點ニ付テ私ハ疑フ有テ居ル、無論斯ウ云フヤウ者ハ刑ヲ相當重クシテモ宜イト思ヒマスガ、併シ監獄ニ長ク置イタカラト云フテ誤タ思想ヲ改善スルコトハ出來ナイ、改善サセル機會ハ與ヘマスケレドモ、唯其處ヘ打込デ置イテ、ソレニ何等カ改善サセル積極的方法ヲ採ラナケレバ、思想ノ改善ト云フコトハ餘程六ツカシイノデスガ、殊ニ斯ウ云フ治安維持法ノ精神ニ反スルヤウナコトヲヤル人ハ、相當ニ間違ッテ居ルモ其思想ニ自信ヲ有テ居ル、先程難談ノ時ニ、隨分ニニ反對シテ居ル人デ、石黒ト云フ人ト私ハ三時位話シタ、ナカノ話シテ見ルト矢張り間違ッテ居ルモ相當ナ根據ヲ有ッテ居ル、デスカラサウ云フ者ヲ長ク唯置イタ丈ケデ、ソレデ、思想ガ變ルト云フノガ一ツノ理由トナッテ居ルガ、矢張り刑ヲ重クシタカラ宜イト云フノデハ、私共ハ少シ論理ガ立タヌヤウニ思ヒマスルガ、長クシテソレデ其思想ヲ改善サセル、何等カ今マデヨリサウ云フ者ニサウスル刑ヲ執行スルニ、特別ナ取扱ヲスルカ、思想改善ニサウスル方法ヲ御採リニナルヤウナ御考デアリマス

○政府委員(山岡萬之助君) 此刑期ノ定メヲ致シマシタ理由ハ、主トシテ取締ト云フ方面カラ觀察イタシマシテ此位ノ刑期ヲ以テシナケレバ、斯カル重大ナル事柄ニ付テ取締ノ效果ヲ舉ゲルコトガ出來ナイ、斯ウ云フノガ第一ノソレガ所謂根本義デアリマス、唯附加ヘマシテ刑ノ執行ト云フコトハ今日ニ於テハ改善主義ヲ採ッテ居リマスノデアリマス、改善主義ヲ行フ爲ニハ短期自由刑デハ何等ノ效果ガ無イコトガ定説デア

リマス、相當ノ期間ヲ以テシナケレバ、效果ハ無イト云フコトデアリマス、隨ッテ刑ヲ執行シマス以上ハ、其今日ノ行刑ノ精神デアルコトハ又之ヲ達シテ其誤レル思想ヲ改善スルト云フコトガ最も適當デアル、即チ此刑ノ執行ニ附屬スル其目的ヲモ達シタイト云フノガ即チ第二ノ理由トシテ申上ゲタノデアリマス、主タル理由ハ繰返シマスガ、取締ノ目的ヲ達シマスルニハ、是丈クノ刑期ヲ以テシナクチャナラヌト云フノガ理由デアリマス、唯附加ヘマスルコトハ即チ刑ヲ執行イタシマス以上ハ刑ノ適用トシテ、ソレニ相當ノ期間ヲ要スルト云フコトデアリマス、唯併シ長ク拘束シタカラソレデ宜シイト云フ意味デハ無クシテ、今日ノ制度デアリマスル刑期三分ノ一ヲ經過イタシマスレバ假出獄ガ出來マス其理由ハ詰リ改善サヘスレバ如何ナル時ニモ刑務所外ニ生活ヲ得セシムル、即チ改善ト云フコトガアリマスカラサウ云フ規定ガアリマス、是故ニ刑務所デ其人一人々々特別ナ個別處分ヲ致シマス、個別處分ト云フコトガ新刑法實施以來ノ精神デアリマス、唯頗ル政府ニ於テ遺憾ニ感ジマスコトハ如何ニモ行刑方面ニ於テ、國民ノ見ル所ガ輕イノデ、昔ノ氣分デアリマシテ、刑務所ヲ以テ矢張り牢獄ナリト感ジテ、人ヲ繋イデ置キサヘスレバ宜シイト云フ考デアリマス、所謂之ヲ扱フ人ヲ獄吏ト考ヘテ居ルハ、故ニ建物サヘアッテ茲ニ繋イデ置ケバ宜イト云フ氣風デアリマシテ、之ニ對スル刑期ト云フモノガ不十分デアリマス、モウ少シ刑期ヲ増加シテ、所謂個別處分ト云フコトハ今一ツ申上ゲマスルト、階級處分デゴザイマス、順次嚴格ナル階級カラ緩和サレテ、階級ヲ漸次進メテ行キマス、其意味ニ於テ罰人ヲ分類シ階級デ行クノデアリマス、ソレデ初メ

リマス、相當ノ期間ヲ以テシナケレバ、效果ハ無イト云フコトデアリマス、隨ッテ刑ヲ執行シマス以上ハ、其今日ノ行刑ノ精神デアルコトハ又之ヲ達シテ其誤レル思想ヲ改善スルト云フコトガ最も適當デアル、即チ此刑ノ執行ニ附屬スル其目的ヲモ達シタイト云フノガ即チ第二ノ理由トシテ申上ゲタノデアリマス、主タル理由ハ繰返シマスガ、取締ノ目的ヲ達シマスルニハ、是丈クノ刑期ヲ以テシナクチャナラヌト云フノガ理由デアリマス、唯附加ヘマスルコトハ即チ刑ヲ執行イタシマス以上ハ刑ノ適用トシテ、ソレニ相當ノ期間ヲ要スルト云フコトデアリマス、唯併シ長ク拘束シタカラソレデ宜シイト云フ意味デハ無クシテ、今日ノ制度デアリマスル刑期三分ノ一ヲ經過イタシマスレバ假出獄ガ出來マス其理由ハ詰リ改善サヘスレバ如何ナル時ニモ刑務所外ニ生活ヲ得セシムル、即チ改善ト云フコトガアリマスカラサウ云フ規定ガアリマス、是故ニ刑務所デ其人一人々々特別ナ個別處分ヲ致シマス、個別處分ト云フコトガ新刑法實施以來ノ精神デアリマス、唯頗ル政府ニ於テ遺憾ニ感ジマスコトハ如何ニモ行刑方面ニ於テ、國民ノ見ル所ガ輕イノデ、昔ノ氣分デアリマシテ、刑務所ヲ以テ矢張り牢獄ナリト感ジテ、人ヲ繋イデ置キサヘスレバ宜シイト云フ考デアリマス、所謂之ヲ扱フ人ヲ獄吏ト考ヘテ居ルハ、故ニ建物サヘアッテ茲ニ繋イデ置ケバ宜イト云フ氣風デアリマシテ、之ニ對スル刑期ト云フモノガ不十分デアリマス、モウ少シ刑期ヲ増加シテ、所謂個別處分ト云フコトハ今一ツ申上ゲマスルト、階級處分デゴザイマス、順次嚴格ナル階級カラ緩和サレテ、階級ヲ漸次進メテ行キマス、其意味ニ於テ罰人ヲ分類シ階級デ行クノデアリマス、ソレデ初メ

リマス、相當ノ期間ヲ以テシナケレバ、效果ハ無イト云フコトデアリマス、隨ッテ刑ヲ執行シマス以上ハ、其今日ノ行刑ノ精神デアルコトハ又之ヲ達シテ其誤レル思想ヲ改善スルト云フコトガ最も適當デアル、即チ此刑ノ執行ニ附屬スル其目的ヲモ達シタイト云フノガ即チ第二ノ理由トシテ申上ゲタノデアリマス、主タル理由ハ繰返シマスガ、取締ノ目的ヲ達シマスルニハ、是丈クノ刑期ヲ以テシナクチャナラヌト云フノガ理由デアリマス、唯附加ヘマスルコトハ即チ刑ヲ執行イタシマス以上ハ刑ノ適用トシテ、ソレニ相當ノ期間ヲ要スルト云フコトデアリマス、唯併シ長ク拘束シタカラソレデ宜シイト云フ意味デハ無クシテ、今日ノ制度デアリマスル刑期三分ノ一ヲ經過イタシマスレバ假出獄ガ出來マス其理由ハ詰リ改善サヘスレバ如何ナル時ニモ刑務所外ニ生活ヲ得セシムル、即チ改善ト云フコトガアリマスカラサウ云フ規定ガアリマス、是故ニ刑務所デ其人一人々々特別ナ個別處分ヲ致シマス、個別處分ト云フコトガ新刑法實施以來ノ精神デアリマス、唯頗ル政府ニ於テ遺憾ニ感ジマスコトハ如何ニモ行刑方面ニ於テ、國民ノ見ル所ガ輕イノデ、昔ノ氣分デアリマシテ、刑務所ヲ以テ矢張り牢獄ナリト感ジテ、人ヲ繋イデ置キサヘスレバ宜シイト云フ考デアリマス、所謂之ヲ扱フ人ヲ獄吏ト考ヘテ居ルハ、故ニ建物サヘアッテ茲ニ繋イデ置ケバ宜イト云フ氣風デアリマシテ、之ニ對スル刑期ト云フモノガ不十分デアリマス、モウ少シ刑期ヲ増加シテ、所謂個別處分ト云フコトハ今一ツ申上ゲマスルト、階級處分デゴザイマス、順次嚴格ナル階級カラ緩和サレテ、階級ヲ漸次進メテ行キマス、其意味ニ於テ罰人ヲ分類シ階級デ行クノデアリマス、ソレデ初メ

リマス、相當ノ期間ヲ以テシナケレバ、效果ハ無イト云フコトデアリマス、隨ッテ刑ヲ執行シマス以上ハ、其今日ノ行刑ノ精神デアルコトハ又之ヲ達シテ其誤レル思想ヲ改善スルト云フコトガ最も適當デアル、即チ此刑ノ執行ニ附屬スル其目的ヲモ達シタイト云フノガ即チ第二ノ理由トシテ申上ゲタノデアリマス、主タル理由ハ繰返シマスガ、取締ノ目的ヲ達シマスルニハ、是丈クノ刑期ヲ以テシナクチャナラヌト云フノガ理由デアリマス、唯附加ヘマスルコトハ即チ刑ヲ執行イタシマス以上ハ刑ノ適用トシテ、ソレニ相當ノ期間ヲ要スルト云フコトデアリマス、唯併シ長ク拘束シタカラソレデ宜シイト云フ意味デハ無クシテ、今日ノ制度デアリマスル刑期三分ノ一ヲ經過イタシマスレバ假出獄ガ出來マス其理由ハ詰リ改善サヘスレバ如何ナル時ニモ刑務所外ニ生活ヲ得セシムル、即チ改善ト云フコトガアリマスカラサウ云フ規定ガアリマス、是故ニ刑務所デ其人一人々々特別ナ個別處分ヲ致シマス、個別處分ト云フコトガ新刑法實施以來ノ精神デアリマス、唯頗ル政府ニ於テ遺憾ニ感ジマスコトハ如何ニモ行刑方面ニ於テ、國民ノ見ル所ガ輕イノデ、昔ノ氣分デアリマシテ、刑務所ヲ以テ矢張り牢獄ナリト感ジテ、人ヲ繋イデ置キサヘスレバ宜シイト云フ考デアリマス、所謂之ヲ扱フ人ヲ獄吏ト考ヘテ居ルハ、故ニ建物サヘアッテ茲ニ繋イデ置ケバ宜イト云フ氣風デアリマシテ、之ニ對スル刑期ト云フモノガ不十分デアリマス、モウ少シ刑期ヲ増加シテ、所謂個別處分ト云フコトハ今一ツ申上ゲマスルト、階級處分デゴザイマス、順次嚴格ナル階級カラ緩和サレテ、階級ヲ漸次進メテ行キマス、其意味ニ於テ罰人ヲ分類シ階級デ行クノデアリマス、ソレデ初メ

テ眞ノ目的ヲ達スル個別處分デアリマス
カラ、其思想ノ誤ヲ人ニ對シテモ亦一
人々々其考ヘガ違フ居ルノデアリマス
ラ、同ジ方面ノ思想ノ誤ヲ人ニ對シテ十
人ガ十人同ジヤウニヤ、目的ハ達シ
マセヌ假ニ總テ個別處分ト云フコトヲ原則
トシテ居リマスルガ、如何ニモ經費ガ不十
分ナル爲メ今日動モスレバ良イ制度ニナ
タト云フ所マデニハ達シナイノデアリマ
ス、併ナガラ政府ニ於テハ精々努力ヲ致シ
テ今日居リマスルノデ、行刑制度調査會ヲ
設ケ、其他監獄法改正委員會モ設ケマシテ、
既ニ相當調査モ進メテ居リマス、サウニ
タヤウナ次第デアリマシテ、其コトヲ附加
ヘテ申上ゲテ置ク次第デアリマスガ、個々
ノ人ニ對シマシテ十分ニ此思想ノ改善ニ付
テ教誨、教育ノ方面カラシテ注意イタス筈
デアリマス、殊ニ斯ノ如キ思想ヲ有テ居
リマスル人ニ對シマスルニハ、外ノ普通罪
ト區別シテ是ヲ極フコト云フコトガ大體調
査會ニ於テモサウ云フ基礎ヲ作テ今攻究イ
タシテ居リマス、實際ニ於テモ既ニ令達イ
タシテ居リマシテ、大體區別ヲシナケレバ
ナラヌコトニナツテ居リマス、本法ヲ施行
イタシマスル際ニ於テハ必ズ是ハ種別イタ
シテ、普通罪ト斯様ナ思想ノ方面ノ人トハ、
未決ノ時代カラ考慮シナケレバナラヌコト
ト考ヘテ居ルノデアリマス

テ批判ヲ求メル、或ハ選舉區ニ懸ヘルト云
フ點ニ對シテ政府ハ明答ヲシナカッタガ、
此點ヲ注意シテ吳レト云フ手紙ガ：：簡
條ガアリマスガ、私ハ速記録ヲ十分マダ讀
ンデ其點ニ對シテハッキリ了解シテ居リマ
セヌガ、是ヲ見マシテハ私有財産制度ヲ否
認スルコト云フテ全部否認スル：：先達テ御
話ノ全然否認ト云フコトハ無論イケンイノ
デ、是ハ其方ノ改善ト云フコトニ對シテハ
相當ニ當局トシテモ、ソレハ矢張り國家ヲ
文明ニ導クモノトシテ御認メニナツテ居ラ
レルヤウデアリマスガ、實際問題ニ當ラナ
ケレバ中ニ其明確ナル判斷ハ下サレヌト思
ヒマスガ、唯是ニ聯關シテ私ガ其點ニ對シ
テ伺フテ置キタイノハ、私ハ大正八年カ
ラ労働者ノ教育ヲ實ハヤンテ居リマス、ソ
レニハ労働者ノ自覺、自覺ガ本ニナツテソ
レカラ起リテ労働運動ナレバ、決シテ國家
ノ秩序ヲ紊サズニ國家ノ工業ナリ産業ヲ發
達サセル、近來労働爭議ガ非常ニ盛ニナ
リ、所謂自覺ナキ「リーダー」ガ煽動サレル
コト云フコトヲ非常ニ憂ヒテ、尤モ労働爭議ノ
甚ダシキ時カラ自分達ハ直接労働者ノ教育
ニ當リテ居リマシテ、今日ハ相當ニ世ノ中カ
ラ認メラレ、吾々ハ可ナリ此労働者ニ自覺
ヲ與ヘテ居ルト自分ハ信ジテ居リマスガ、
其學校デ矢張り自然此私有財産制度ト云フ
ヨリモ、私有財産ニ對スル觀念或ハ所有權
ト云フモノニ對シテハ時々吾々モ話ヲシマ
スシ又講義モ、種々ナ講義ヲ教エテ居リマ
スガ丁度ソレナドハ矢張り此第四項ノ、今
衆議院ノ方カラ吾々ニ注意ヲ與ヘラレタ其
事柄ニ稍、關聯シテ居リマス、デ此政府ガ
議員ノ其質問ニ對シテ明答ヲ與ヘナカッタ
ト云フヤウナコトハ、ソレハ實際ニアッタ
カナイノカ私ハ分リマセヌケレドモ、是ニ
對スル意義ヲ簡單ニ了解ノ出來ルカ出來マ

カト云フコトニ付テ御話ヲ願ヒマス
○政府委員(山岡萬之助君) 政府ニ於キマ
スル衆議院ニ於テ、唯今ノ御質問ノ要點ニ對
シテ答辯シタ所ハ不明デハ決シテナイノデア
リマス、唯新聞紙ノ報ズル所ハ其答辯ガ明
瞭デナイト云フヤウナコトガ書イテアリマ
シタケレドモ、政府ニ於キマスル答辯ハ上
奏ト云フモノハ議會ノ議員ノ權能デアアル、
議員ト云フ者ハ會期ガ始テカラ召集ヲ受
ケテ貴衆兩院ハ成立スル、成立シテ其以後
ニ於テ初メテ其權能ト云フモノハ生レルノ
デアアル、召集前ニ於テ議會ト云フモノハ存
在シナイ、是ハ同時ニ議員ノ權能ト云フモ
ノモ召集ヲ受ケテ、議院内ニ於テ其職ヲ行
使スルノデアリマスカラ、議院外ニ於テハ
議員ト云フ身分ヲ持ツタ人ハ存在シマスケ
レドモ其職權ト云フモノハナイ譯デアアリ
マス、サウニ云フ次第デ上奏ト云フコトハ、議
院ニ於テノミ之ヲ爲スコトガ出來マスノデ、
議院ガナスノデアリマス、之ヲ個々ノ議員
ト云フ者ガ貴族院衆議院ト云フ議院ニ於テ
爲シ得ル次第デアリマス、サウニ云フ次第デ
アリマスカラシテ、此上奏案ヲ議スルニ付
テ離レナイ所ノ：：必然的ニ離レナイ所ノ
モノハ、例ヘバ其控室ニ於テ之ヲ研究シ、
相談スル、斯ウ云フヤウナコトハドウモ議
場デ總テ論議スル、其必然的ニ分離ガ出來
マヒヌカラ、必然的ニ分離ガ出來ナイ部分
ガケデハ議場外デモソレハ差支ナイ、併ナ
ガラ全然ソレヲ離レテ仕舞テ、上奏其コ
トヲ爲ス、必然的ニ關係ノナイコトヲ院外
ニ於テ論ズルト云フコレハソレハ職權デモ
職能デモナイ、サウ云フコトハ極メテ重大
デアッテ、憲法ノ問題ニ反スル以上ハ、サ
ウコトヲ他デ論議スルト云フコトハ放任ス
ベカラザルコトデアアルト考ヘル、仍テ院外
ニ於テハ、斯ノ如キコトハ相當ニ本法ノ取

締ヲ受ケル、斯様ニ申シテ居ル次第デアリ
マス
○國務大臣(小川平吉君) 尙ホ大切ナコト
デアリマスカラ、附加ヘテ置キマスガ、今
山岡政府委員カラ述ベマシタガ、此點ハハ
ッキリ申シテ置キマス、ソレハ其憲法ノ條章
ノ變更ニ關スル問題ハ憲法ニアル通り、即
チ勅命ニ依テ帝國議會ニ其變更ノ議ヲ御提
出ニナツテ初メテ出來ルノデアアル、一般ノ
臣民ハ憲法ノ變更スルコトヲ請願スルコ
トヲ許サレテ居ラス、誰モ憲法ノ變更ト云
フコトハ發議スルコトガ出來ナイ、唯併シ
議院ト云フモノハ上奏ノ權ガアル、陛下ニ
對シテ憲法ヲ御變更ニナルヤウニト云フコ
トヲ上奏スルコト云フコトハ出來ルデアラ
ウ、是ハ併シ議員ガ議院ノ特權ヲ行フノデ
アルカラ、院外デ政黨ノ本部ヤ組合等デ論
議スルコトハ出來ナイ、是ハハッキリ申シ
テ置キマス
○岡喜七郎君 チョット先刻ノ御話ニ附加
ヘテ、司法大臣ノ御聲明デヨク政府ノ意ノ
アル所ハ諒承イタシマシタガ、私ノ大體申
上ゲマシタコトハ獨リ此本法ヲ施行サレル
ニ當リテノミナラズ、總テ例ヘバ出版法ニ
シロ、新聞紙法ニシロ、治安警察法ニシ
ロ、斯ウ云フ種類ニ屬スルモノニ遭遇シマ
シタ時ニ、速カナル御處置ヲ執ッテ頂キタ
イ、又此種ノ犯罪ニ限ツテ、御承知ノ如ク
隨分時間ガ經過スルコト云フト色々運動ガ
起リ、或ハ輕減運動トデモ申シマスガ、緩
和策ト申シマスガ、色々ナ人カラ色々ノ理
由ナドヲ申述ベテ、兎角遷延シテ居ル中
デ、動モスレバ有耶無耶ニ終ルト云フヤウ
ナコトモ、是マデ如何ナル時代ニモアタヤ
ニ自分ハ考ヘテ居ルノデアリマス、デ前ニ
取締法ニ屬スルコトハ申上ゲマスマデモナ
ク、其都度出來ル限リ速カニ、出來ル限リ

嚴正ナル法ノ執行ガ行ハレマセヌト、段々蔓
テ來ル結果ニナルヲ思フテ居リマス、
獨リ本法ト云ハズ、總テ此種ノ法規ノ御取
扱ハ警察取締ニ屬スル者、法ヲ掌ラレル人
ト共ニ一團トナッテ相俟テ速カナル處置
ヲ大體ニ於テ執テ貴ヒタイト云フ、斯ウ
云フ希望デアルノデアリマス、別ニ御異議
モナケレバ御返答ニハ及ビマセヌガ、私ノ
意ノアル所ヲチヨット茲ニ附加ヘタ次第
アリマス

○湯地幸平君 朝鮮トカ臺灣トカ云フヤウ
ナ所デ、朝鮮ノ獨立、臺灣ノ獨立、即チ日
本ノ元首ノ支配ヲ受ケナイト云フヤウナコ
トデ、朝鮮臺灣等ニ於テ別ニ彼等ノ好ム所
ノ元首ヲ定メテ、サウシテ其目的ヲ達スル
ガ爲ニ結社ヲシタモノハ、今度ノ此統治權
即チ團體ノ否認ト云フコトニ當ルヤウニ思
ヒマスガ、如何デセウカ、承リタイト思ヒ
マス

○政府委員(山岡萬之助君) 左様ナ問題ハ
本法ノ全ク解釋ト云フコトニナリマスノ
デ、今日此憲法第一條ノ天皇ノ統治權ト云
フコトヲ基礎トシテ茲ニ研究ヲ致シテ來タ
問題デアリマス、ソコハ刑法ニアリマス所
謂邦土僭竊ト云フコト、似タ觀念デアリマ
ス、朝鮮ヲ以テ全然引離シテ……統治權カ
ラ離シテ仕舞フト云フコトニナリマスレ
バ、統治權ニ影響ナイトハ言ヘナイト思
フ、サウ云フ次第デアリマスカラ、左様ナ
企ハ第一條ヲ以テ取締ルベキモノト解釋シ
テ居リマス

○男爵田健治郎君 今ノコトニ關聯シテ
チヨット御尋ネシタイト思ヒマス、是ハ速
記ヲ止メテ戴キタイ

○委員長(公爵一條厚基君) 速記ヲ中止シ
テ……

〔速記中止〕

○湯地幸平君 朝鮮トカ、臺灣トカ云フ方
デ、所謂統治權ヲ否認スル、元首ヲ否認ス
ルト云フ事柄ガ此治安維持法ニ當リマスレ
バ、次ニ起リマスノハ、サウスルト統治權
ノ行ハレル土地、行ハレル領域ヲ制限スル、
詰リ朝鮮トカ臺灣トカ云フ領域ダケニ元首
ヲ否認スルソレガ治安維持法ニ當ルト云フ
コトニナリマス、更ニ疑ガ起キテ來マス
ノハ、統治權ノ働キノ意味、統治權ハ此憲
法ノ條規ニ依ッテ行ハレルノデアリマスカ
ラ、例ヘバ此憲法ノ統治權ガ左様ナ一部分
ヲ意味スル、極端ニ言ヘバ舊幕ノ時代ノヤ
ウニ元首ト云フモノハ榮譽ヲ授ケルダケデ
アルトシテ、其外ノ統治權ノ權力ヲ否認ス
ル、所謂統治權ノ作用ノ一部分ヲ……憲法
ニ於ケル統治權ノ作用ノ一部分ヲ否認ス
ル、斯ウ云フ假リニ結社ガ出來タトスル
ト、ソレハ矢張り此治安維持法ノ團體ト云
フコトニ當嵌メテ差間ヘアリマセヌカ、ド
ウデセウカ

○國務大臣(小川平吉君) 先刻湯地君カラ
例ニ出サレマシタ例ヘバ帝國ノ一部分、朝
鮮ナラ朝鮮、或ハ又朝鮮ノ半分デモ宜シウ
ゴザイマセウ、ソレヲ陛下ノ統治權カラ離
シテ仕舞フト云フコトハ、其領土ノ部分ガ
狹クアリマシテモ、統治權其モノニ觸レル
譯デアリマス、統治權其モノヲ奪フ譯デア
リマスカラ、是ハ無論本法ニ觸レルノデア
リマス、ソレカラ舊幕ノ例ヲチヨット御出
シニナリマシタガ、統治權ヲ行ハル、ニ付
イテ如何ナル機關ヲ經テ、如何ニシテ行ハ
ル、カト云フコトハ、ソレハ統治權其モノ
ニ觸レル譯デハナイノデアリマス、統治權
ノ働キノ形式體樣ト云フコトニナルノデ
アリマスカラ、ソレハ違フノデアリマス、
併ナガラ帝國ヲ知シメシテ居ル其中ノ一部
分ノ統治ヲ陛下ノ大權カラ離スト云フコト

ハ、陛下ノ大權ニ向ッテソレガ觸レテ行ク
ノデアリマスカラ、是ハ無論イケンイ、働
キ方ニ於テ……帝國議會ヲ經テ主權ヲ行フ
トカ、或ハ封建制度ヲ布イテ大名制度ニ依ッ
テ統治權ヲ行フト云フコトハ、ソレハ大權
其モノニ觸レル譯デハナイノデアリマス、斯
ウ解釋シテ居リマス

○湯地幸平君 帝國議會ヲ經テヤレバ宜シ
イカ、經ナイデ、元首ト云フモノヲ唯榮譽
權ダケノモノニシテ仕舞フテ、其外ノ權力
ハ認メヌト云フ事柄ニ茲ニ結社ガ……サウ
云フ結社ガ出來タトスレバ……

○國務大臣(小川平吉君) ソレハ無論イケ
ナイ、イケンイニ極メテ居ル……

○湯地幸平君 ソレハ團體ニ觸レマスカ
○國務大臣(小川平吉君) 觸レマス、無論
デス、大權ハ絕對無上ノモノデスカラ、之
ヲ認メヌトカ、取ルトカ云フコトハ出來ル
譯ノモノザヤナイ

○湯地幸平君 サウスルト解釋ガ廣クナリ
マスカラ、安心イタシマスガ、憲法ニハソ
レソレ議會ノ協賛ヲ經ナイデ元首御親裁ノ
事柄ガアリマス、其事柄ヲ、是ハ矢張り議
會ノ協賛ヲ經ナクチャナラヌ、是ハ元首ノ
獨裁デイカヌ、所謂大權ニ關スル事項デ、
ソレヲ段々大權デナクスルト云フヤウナ目
的デ結社ガ出來タ時分ニ於テハ、是モ矢張
リ團體ニ觸レルト云フコトニナリマスカ、
ドウデアリマスカ

○國務大臣(小川平吉君) 其通りデス
○湯地幸平君 解リマシタ
○子爵大河内輝耕君 唯今ノ福原男爵ノ御
尋ニ關聯シテ、チヨット私ハ疑問ヲ解イテ
置キタイト思ヒマスガ、上奏ノコトニ付キ
マシテ、院內デヤルノハ職務行爲デア
ルガ、院外デヤルノハイケンイ、斯ウ云フ御
尋ネデゴザイマシタガ、チヨット衆議院ノ速

記録ヲ見マス、院外デヤルコトモ、院內
デヤルコトニ離ルベカラザルモノデア
ル以上ハ差支ナイト、斯ウ云フ御答ガアッ
ウニ思ハレマスデスガ、唯今ノ御答デハ院外
デヤルコトハ絕對ニイケンイト云フコトノ
ヤウニ解セラレマスガ、何方デゴザイマス
カ

○政府委員(山岡萬之助君) 衆議院ニ於ケ
ル質問應答モ矢張り本會、即チ議場ニ於ケ
ル行動ト必然の離スコトノ出來ナイ部分ナ
ラバ宜シイノデ、院外ニ出テモ、院外ニ於
テ活動スルト云フ場合ニ於テ、自分一人準
備ノ調ベヲスルトカ云フコトハ、ソレハ問
題デナイ明日ノ議場ニ出ルコトノ準備ヲス
ル、サウ云フコトハ矢張り離ルベカラザ
ルコトデアリマス、之ニ反シテ政黨ノ本部デ
論議スルトカ、或ハ結社ヲ造ッテ論議スル、
斯ウ云フコトニナリマス上奏權……衆
議院、若クハ貴族院ノ上奏權ヲ行使スル必
然的ノコトデナイカラ、院外ノ行動ハイケ
ナイ、斯様ナ意味デアリマス

○男爵大井成元君 先刻來チヨット中座ヲ
致シマシタカラ、既ニ御質問ガアツカモ
知レマセヌガ、チヨット何ッテ置キマス、本
法制定ノ結果治安警察法、新聞紙法、其他
出版法等トノ取締上ノ權衡、或ハ調和ト云
フガ如キモノニ於テハ遺憾ノ點ハゴザイマ
セヌカ、若シ有リトスレバ之ヲ御改正ニナ
ル御考ヘデアリマスルカ、私ノ見ル所ヲ以テ
致シマスルト先日來ノ質問應答ノ結果ニ依
リマシテハ假令此本法ヲ以テ根本的ノ大問
題ハ能ク御取締リガ出來マスルモノト認メ
マシテモガ、即チ本法ハ成ルダケ間口ヲ狭
クシテ、已ムヲ得ナイモノニ限ッテ御制定ニ
ナッタト云フ御精神ノヤウニ承ッテ居リマス
ルカラ今日ノ時勢ニ於キマシテハ此他ニ假
令極刑デナクテモガ、多々取締リヲ要スベ
キ點ガアルト云フコトハ既ニ前日來ノ質疑

應答デ認メラレルノデアリマス、即チ昨日モ本員ヨリモ伺ヒマシタ如ク軍ノ精神ヲ崩壊スル、破壊スルガ如キ目的ヲ以テ、簡單ニ申シマスレバ兵役義務ノ否認トモ言ヒ得ラレルカモ知レマセヌガ、要スルニ軍ノ精神ヲ崩壊ラシテ、サウシテ是ヨリ延イテ國體ノ根本ニ向ッテ吶喊ヲ試ミヤウト云フガ如キ、不逞ノ徒モ、方今ニ於テハ隨分澤山アルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、又衆議院ニ於テ政體ト云フ文字ヲ削除ニナリマシタ結果政體ヲ根本的ニ變革スル、固ヨリ政府ヲ根本的ニ變革スルト云フコトヲ深ク之ヲ推シ擴メテ行キマスレバ、多クハ國體ノ根本ニ觸レルコトガアリマスカラ、國體ト云フ文字ガ殘ッテ居ル以上ハ其大本ヲ取締ル上ニ付テハ敢テ差支ナイカト思ヒマスルガ、併ナガラ其前ニ於ケル此國體ノ破壊否認ト云フガ如キモノモ亦是レ重大ナコトデアリマスカラ是等モ相當ノ程度ニ於テハ取締ラヌケレバナラヌ、今日ノ狀態ニ於テ此代議政體ヲ變革シテ、極端ナル專制政體ニ樹立シヤウト云フガ如キコトヲ之ヲ堂々サウ云フコトヲ考ヘテ、サウ云フ運動ヲ爲スト云フヤウナコトハ是ハ認メルコトハ出來ヌ次第デアル、又假令此有形的國體デアラウト云フモガ、是ガ今日ノヤウニ暴力、脅迫、或ハ兇器ヲ携ヘテ行動スルト云フヤウナコトガ流行ヲ致シマスルト云フト、自然此政治ノ實際ノ狀態ト云フモノガ暴力政治ニ化シテ仕舞フト云フヤウナ譯ニ追々形勢ガナッテ來マスノデ、是等モ相當取締リヲセヌナラヌト云フ必要ハ本法以外ニ於テ、假令本法ニ觸レナイモノト致シマシテモ十分アルダラウト考ヘルノデアリマス、シテ見ルト云フト治安警察法其他ノモノニ於テハ取締リガ頗ルナマ溫イモノト致シマスレバ、ドウシテモ斯ノ如キモノヲ本

法制定ノ結果此調和ヲ圖ル、或ハ其缺陷トデモ認ムベキモノヲ補ッテ行クト云フ御改正ガ必要デハナイカト信ズルノデアリマスルガ、其點ニ關スル政府ノ御意見ハ如何デアリマセウカ之ヲ伺ッテ置キタイ

○國務大臣(小川平吉君) 御尤モナ御質問ト存ジマスガ、政體ト云フ部分ヲ衆議院ニ於テ剩餘イタシマシタニ付テ、是ニ同意イタシマシタ理由等ハ先ニ田男爵ノ御質問ニ對シテ詳シク申上デマシタヤウナ次第デアリマス、ソレカラ他ノ事柄ニ付テ治安警察法其他デハドウモ取締ガ十分デナイカラシテ之ヲ改正スルヤウナ考ヘガアルカト云フ風ノ御質問デアリマシタ、之ニ付テモ先般委員會デ上デマシタ通り既ニ此本案ヲ作リマスル時分ニモ本案ニ規定シテ居ルコトノ外ニ納稅ノ制度、兵役ノ制度ノ否認等ノコトモ、一旦ハ原案ニ作ッテ見タヤウナ次第デアッタノデアリマスガ、當時申上デマシタル如ク先ヅ今日ハ最も急ナル、最も必要ナルコトダケニ、狭イコトニ法律ヲ拵ヘテ、已ムヲ得ザル分ダケヲ先ヅ出ス方ガ相當デアラウ、斯ウ云フ考ヘデ、段々削リマシテ本法規定ノ二ツノ事柄ダケニ致シタト云フコトガ先ニ申上デタ通りデアリマス、右ノヤウナ事情デアリマスカラ之ヲ以テ必ズ足レリトスルト云フ政府ノ考ヘデハゴザイマセヌ、モウ少シク情勢ヲ見究メマシテ、例ヘバ此政體ノ事柄ニ致シマシテモ、先ニ申上デマシタ通り先ヅ今日ハ是デ大抵行ケルダラウ、政體ヲ壞サウト云フ奴ハ大抵皆無政府主義ノ者ガ多イノダカラ、是デ行ケヤウ、兵役、納稅等ノコトハ暫ク現行ノ法ニ依ッテ出來ルダケノ取締ヲシテ見テ、是等ノ分ノ中ニモ矢張り兵役制度ヲ否認スル者ナドハ先ニ申上デマシタ通り、矢張り無政府主義共產主義ノ者ガ多イノデアリマス

カラ之ニ係ル者ハ可ナリ多カラウ、此法律ニ依ッテ餘程矢張り取締レルダラウト考ヘテ居リマスルガ、尙ホ此處行キテ見マシテ本法ダケデハ十分デナイト云フコトデアレバ或ハ治安警察法等ヲ改正致シマスルカ又ハ此法律ニ改正ヲ附加ヘテモ致シマスカ、或ハ新タニ法律ヲ拵ヘマスカ、何トカ一ツ其處理ニ執ルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、左様御了承願ヒマス

○湯地幸平君 此條カラ政體ヲ取ラレタト云フ事柄ハ、色々ナ場合ヲ考ヘテ見ルト誠ニ遺憾ニ思ヒマスケレドモ、今日ニ於テハドウモ何トモ仕様ガナイコト思ヒマス、併シ斯ウ云フ風ノ解釋ニシテ行カナケレバ取締リガ出來ヌ、國體ノ方ハ是ハ絕對デアリマス、統治權ノ所在デアリマスカラ之ヲ適法ニ變ヘルトカ、不適法ニ變ヘルトカ云フ問題ハ起ラヌト思ヒマス、併シ此統治權ノ作用デス、統治權ノ作用、働キト云フモノハ之ヲ適法ノ手續ニ依ッテ之ヲ變ヘル場合ガアラウト思ヒマス、併シナガラ此統治權ノ作用ト云フモノハ、普通ハ統治權ノ作用ト統治權ノ所在トヲ別々ニ學說デハ見テ居リマスケレドモ、併シ統治權ノナイ所在ト云フコトハ認メラレマセヌカラシテ、統治權ノ作用：：統治權ノ所在ト云フモノト統治權ノ作用ト云フモノハ殆ト同ジモノデアル、是ガ別々ノモノデアラナラバ一切ノ統治權ヲ委任シテ統治權ノ所在ダケ理想スルト云フ事柄ハ出來ナイノデアリマスルカラ、詰リ統治權ノ主體ト云フモノト作用ト云フモノトハ、大體離スコトノ出來ナイモノデアルト云フ考ヘカラ統治權ノ作用ニ之ヲ不法ニ統治權ノ作用ノ全部ハ勿論デスガ、統治權ノ作用ヲ一部分デモ之ヲ不法ニ否認スルト云フ事柄ハ悉ク是ガ國體ニ關係スル、即チ統治權ノ主體ニ關係スル問題

デアル、併シナガラ此統治權ノ作用ノ方ハ國體トハ違ッテ適法ノ手段ニ依ッテ之ヲ變ヘテ行ク事柄ハ宜シイ、假令其一部分デアッテモ統治權ノ働キ之ヲ不法ニ變ヘルト云フ事柄ハ、丁度此國體ノ矢張り變革ト云フモノニナルモノデアル、先刻ノアノ臺灣ノ獨立トカ或ハ朝鮮ノ獨立トカ云フヤウナコトデ結社ヲシタモノハ、矢張り國體ニ觸レルト云フ御答辯デアリマシタガ、其精神カラ行ケバ、是等ハ統治權ノ領域ニ關スル一種ノ制限デアリマスカラ、其方ノ觀念カラ行ケバ統治權ノ作用ヲ不法ニ否認スルト云フ事柄ハ、皆盡ク此國體ニ觸レルモノデアルト云フ風ノ御解釋ノヤウニ先刻ノ御答辯デ伺ヒマシタガ、サウ云フ御解釋デアレバ誠ニ私ハ適用上非常ニ都合ガ宜イコトと思フノデアリマスガ如何デゴザイマスカ

○國務大臣(小川平吉君) 此御話ガ抽象的ノヤウナ御言葉デ、御答ニチト困ル譯デアリマスガ、併シ國體ノ變革ト書イタ以上ハ何處マデデモ即チ大權ト申シマス、大權其モノニ觸レナケレバ、ドウモチト無理デヤナイカ、體下ト違ヒマスカラ、體ガアッテ始メテ是ガ働イテ居ルヤウニナル其働ノ作用即チ行使ノ方法ト云フモノヲ否認スルト仰シヤレバ、是ハ成程觸レルカモ知レマセヌガ、其作用ヲ變更スルトカ、制度ヲ變ヘルトカ云フコトニナルト、ドウシテモ大權、統治權其モノニ觸レルト云フコトデヤナイコトデアルト思フノデスガ：：

○湯地幸平君 統治權ノ作用ヲ全部假ニ否認スルト云フコトデモ之ニハ觸レマセヌカ、國體ニハ：：

○國務大臣(小川平吉君) 否認ト云フコトハドウナリマスカ、作用ダケノ否認シテ體ヲ殘スト云フ譯ニハ行カナイ、矢張り體マデ否認スルト云フコトニナルト思フノデア

リマスガ、一部否認スルコトハ用バカリデアルガ、本體ニハ觸レル譯ニナリマセヌガ、全部否認ト仰シヤレバ、サウナレバ國體ニ觸レルト思ヒマス

○湯地幸平君 一體統治權ト云フモノハ作用ナクシテ統治權ト云フモノハ想像スルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、何ニモ働キノナイ統治權ト云フモノハソレハ空想デアッテ此等トモ想像ガ出來マセヌカラ、必ズ統治權ト云フ以上ハ矢張り作用ガ伴フモノデアル、其統治權ノ作用ノ一部分ヲ不法ニ否認スルコト云フコトニナレバ、矢張り此國體ニ觸レルト云フ結論ニナラナクチャナリマセヌ……

○國務大臣(小川平吉君) 今ノ働キ方ガ或ハ議會ヲ經テ行使セラレルトカ、或ハ裁判所ヲ經テ行使セラレルト云フ働キ方ノ方法ニ付テハ、是ハ國體ニ差支ヘナイ譯デアリマスガ、今ノ御話ノヤウナ働キヲ全部否認スルト云ヘバ、統治權ヲ無クスルコト同ジ結果ニナルカラ、ソレハ觸レルグラウト思ヒマス、大權其モノニ觸レル譯デスカラ、國體ニナルト思ヒマス、全部無クスルト云ヘバ……

○湯地幸平君 作用ノ全部ヲ否認スルコト云フコトハ國體ニ觸レルガ、ソレナラバ其作用ヲ九分九厘迄否認シテ、僅カ一厘ダケ殘スト云フコトニナレバ、ソレハ國體ヲ否認セヌト云フコトニナリマスガ

○國務大臣(小川平吉君) 其否認ト云フ言葉ガ能ク分ラヌノデアアル、統治權ハ陛下ガ總覽シテ御在ニナル、ソレノ働キハ色々ノ方ニ分レテ居ルノデアアル、其働キ方ハ議會ニ依テ働カルルシ、元帥府ニ御諮問ニナル、又樞密院モゴザイマセウガ、サウ云フ機關ノ變更ト云フモノハ働キ方ノ變更ダカラ、統治權ニ觸レナイ譯デスカ、否認スル

ト仰シヤレバ、大權ナラ大權ト云フモノヲ全部働クコトガ出來ナイヤウニスル、働キノ無クスルコト云フコトニナレバ、ソレハ統治權ニ觸レルデアラウト思ヒマス、無クスルコト云フコトハ一部デモ、部分ニ依ラナイ譯デ、性質ニ依ル譯デスカラ、働キ方ノ方法トカ、様式ト云フヤウナモノハ變更サレテモ宜イケレドモ、統治權ヲ働カセナクスルコトハ一ツデモ、二ツデモ無論イカヌト思ヒマス

○湯地幸平君 私ガ申上デタノハ適當ナ手段ニ依テ作用ヲ變ヘテ行クコトハソレハ議論シマセヌガ、例ヘバ裁判ト云フモノハ天皇ノ名ニ於テ之ヲ行フ、裁判權ト云フモノヲ不法ニ之ヲ否認スル、裁判ト云フモノヲ全部否認シテ仕舞フ、此目的ノ爲ニ假ニ結社ガ出來タトシテ見レバ、矢張り統治權ノ作用ノ一ツデスカラ、ソレハ矢張り國體ニ觸レルモノト思ヒマスガ、如何デアリマスガ

○國務大臣(小川平吉君) 能ク分リマシタ、ソレハ即チ裁判ノ裁判權ト云フ大權ヲ働セナイコトニスル、大權其モノヲ制限スルコトハソレハ無論觸レル譯ニナリマス

○湯地幸平君 ソレデ分リマシタ

○子爵大河内輝耕君 唯今ノ質問ノ御答ニ依リマス、サウスルト私ハ又昨日伺ッタコトヲ繰返シテ伺ハナケレバナリマセヌガ、統治權ノ根本ニ觸レル、ソレヲ否認スル、ソレヲ變革セムトスル者ハ是ハ國體ノ意義ノ中ニ這入ル、斯ウ云フ御説明デアリマシタ、然ラバ昨日モ伺ヒマシタ如ク、茲ニ國家國民ヲ擁護スル爲ニ一國ノ陸海軍ヲ建テマシテ、天皇ガ統治權ノ總覽ヲサレマス、其中ノ最も直接ナ行爲ト致シマシテ、

天皇ノ御行爲ト致シマシテ、統帥ノ大權ヲ掌握シテ御在ニナル、御承知ノ如ク大政ヲ總覽セラルル上ニ於キマシテモ、他ノ庶政ハ總理大臣、内閣ヲ經テ、サウシテ直接ニ御親裁ニハナリマスガ、他ノ機關ヲ經テ多クハ其大權ヲ行使セラレルノデアリマス、單リ此陸海軍ノ統帥權ノ行使ニ至リマシテハ、歴史ニ於キマシテモ、亦制度ノ上ニ於キマシテモ、乃至ハ事實ニ於キマシテモ、大元帥ト遊バサレマシテ親ラ統帥ニナルノデアリマス、サウ云フ風ニ從來認メテ居ルノデアリマス、ソコデ此一國ノ陸海軍ノ根本ニ向ヒマシテ、其存在ノ基礎ヲ破壞スル、其手段ハ色々アリマセウガ、無政府主義者乃至ハ共產主義者ナルモノハ、近年諸國ノ例ヲ見マシテモ、多クハ軍隊精神ノ根本ニ向ヒマシテ、之ヲ麻痺、陶醉ヲサセル、精神のニ此統帥權ノ上下ノ結合ヲ破壞ヲシテ延イテハ軍隊ヲ根本カラ破壊シテ仕舞フ、シテ仕舞フ後ニ、軍隊ハアレドモ無キガ如シ、全クナッテ仕舞フ、精神のニナクナッテ仕舞フ、然ラバナクナッタモノニ向ッテ國家國民ヲ擁護スル如ク、統帥大權ヲ行使サレルト云フコトハ、ソレハ不可能ナコトデアリマス、事茲ニ至ッタナラバ全ク不可能デアリマス、殆ドナクシテ仕舞フ、サウ云フ大ナル變化ヲ生ズルモノガ團體ノ變革ヲ生ジナイト云フコトハ私ニハ分ラヌノデアリマス、昨日政府委員ノ御説明ニ依ルト云フト、ソレハ唯軍隊ヲ否認スル、非軍國主義ト云フガ如キモノデアッテ、固ヨリ統治權ノ枝葉デアアルガ、國體ノ變革ト云フ部類ニハ這入ラナイ、若シ國體ヲ變革スル目的デ考ヘテサウ云フコトヲスル、ソレガ前提デアレバ這入ル、斯ウ云フ御説明デアッテ一應ノ水ハ致シタノデアリマスガ、今日ニ至ッテモ尙ホ十分ニ其處ハ分ラヌノデアリマス、ト云フモノハサウ云フ不羈ヲ圖ラウト云フ人間ガ若シ現ハレタナラバ、

罪ノ輕キヲ欲スルコト云フコトハ人情デアリマスカラ、縱令國體ノ根本ニ於テ變革ヲ圖ラウト致シマシテモ、私ハサウ云フコトヲスルガ爲ニ軍隊ヲ破壞スルノデアリマス、ハ何人デモ言ヒハシナイト私ハ思ヒマス、是ハ證據デ行カケレバナラヌコトデゴザイマスガ、證據モ容易ニサウ云フ證據ハ提供イタサナイト思ヒマスカラ、遂ニハサウ云フ大事ヲ犯シタ者ヲ取締ル途ガナクナッテシマウ、然ルニ其行爲タルヤ事實ニ於テハ國體ノ變革トナルカラ變リハナイ、斯ウ云フ結果ニ陷ルノデアリマスカラシテ、私ト致シマシテハ此統帥權ノ根柢ヲ變革スル破壊スルコト云フガ如キ者ハ、矢張り今湯地君ノ他ノ問題ニ付テ御議論ノ如ク、是ハ國體ノ根本ヲ變革スル者ノ中ニ入レテ、同一ニ解釋シテ本法ヲ以テ取締ルト云フコトガ最も適切ナルヤウニ考ヘルノデアリマス、昨日ノ御説明ニ依リマシテ、今日ノモノト聊カ其間ニ、御答辯ノ上ニ矛盾ガアルヤウニ考ヘマスカラシテ、尙重ネテ伺ヒマス

○國務大臣(小川平吉君) 先刻來湯地君ニ御答ヘ申シタ事柄ハ、之ヲ統帥權ノ場合ニ於テ申シマスレバ、統帥權其モノノ働キヲ止メルトカ、統帥權其モノニ觸レルト云フコトニナルト初メテ本法ノ第一條ニ抵觸スルノデアリマス、併ナガラ例ヘバ軍律ヲ亂ルトカ、軍隊ニ於ケル命令服從ノ關係ヲ壞スト云フ事柄ニ進ンデ參リマスレバ、必ズ是ハ大權ヲ犯ス迄ニ參ルノカモ知レマセヌガ、其コト迄ハ大權ヲ侵スト云フコトニハ至ラヌト云フ意味デ政府委員ガ答ヘタカト思ヒマスガ、例ヘバ共產主義ニ致シマシテモ、今日ノ共產主義ハ之ヲ實行スル結果、必然ノ結果トシテハ國體ニモ觸レルコトニナルデアリマセウ、皇室ニモ觸レルコトニナルニ相違ナイケレドモ、共產主義其モ

ノハ必ズシモ其處マデ行カナイ分デ唱ヘテ
居ル者モアリマスカラ、是ハ別ノモノデ罰
スルト云フ次第デアリマスルノデ、原則ト
シテハ天皇ノ大權其モノニ獨レタ場合ニハ
第一條ニ入ルト云フ、斯ウ云フ詰リ次第デ
アリマス、仕舞ニハ其處マデ行クカモ知レ
ヌド云フモノ、本法ニハ係ラヌト云フ譯
デ、尙ホ昨日來ノ關係モアリマスカラ細カ
イコトニ付テハ山岡政府委員カラ申上ダ
ルコトニ致シマス

○政府委員(山岡萬之助君) 昨日申上ダ

コトト本日大臣ヨリ申上ダコトト少シモ
矛盾ハ致シテ居リマセヌデアリマス、統
治權ハ天皇ニ於テ總攬セラレルト云フコト
ニナリマスルノデ、即チ圓滿無缺ノ統治權
デナクテハナラヌデアリマス、是故ニ其
一部ヲ場所ノ二否定スルト圓滿無缺ノ統治
權デハナクナルノデス、又之ヲ働キノ方面
カラ其一部分ヲ、減縮シテシマウ、是亦統
治權其モノヲ變革スルモノデアアルノデア
リマス、之ニ反シテ其天皇ノ統治權ヲ總攬
サルニ付テ御親裁ニナル、或ハ他ノ機關
經由シテ間接ニ御統治ニナル、是ハ全ク憲
法ノ働キノ問題ニナルデアリマス、御親
裁權ヲ稱シテ今日狹イ意味デ大權ト申シ、
御親裁權ト然ラザル統治權トヲ包括シテ統
治權ト申スコトハ、申上ダル迄モナイコト
デアリマス、是故ニ御親裁ニナル權ヲ移シ
テ以テ間接統治、機關統治ニ致シマシテ
モ、是ガドウモ國體ヲ變革シタト云フコト
ニハナラヌ譯デアリマス、サウ云フ次第
デアリマス、之ニ反シテ統帥權ノ總攬イタ
サレマスル部分ニ抵觸スルコトナク、軍隊
ノ精神ヲ腐敗セシムルトカ上命下服ノ關係
ヲ破壞スルトカ云フガ如キコトニナリマス

レバ、陛下ノ統治權ニ變テ段々進シテ行
テ、遂ニ特殊ナ影響ヲ有ツト云フコトハデ
ス、是ハマア實際問題トシテ考慮イタシマ
スルト云フト、段々昨年來ノ御説ノ通りデ
アリマス、其點ハ私共ニ於テ御同感デアリ
マス、唯併シ法律解釋ト致シマシテハ左様
ニ重大ナ點デモ統治權ノ自體ノ御總攬ニ
ナル部分ト抵觸シナイ限ト云フモノハ、
本案ニ於テハ取締ルベキ範圍デナク、他ノ
法律ニ於テ取締ルベキモノデ放認シテ置ク
ベキモノデハナイデアリマス、他ノ法律
ニ於テ斯ノ如キコトハ常ニ朝憲紊亂、安寧
秩序ノ破壞ト云フコトニナツテ取締ラルベ
キモノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵大井成元君 成程統帥權ト云フコ

トヲ單ニ法理上ノ問題カラ御説明ニナリマ
スレバ、仰セノ通りノヤウナ説明ガ付クデ
アラウカト思ヒマスルガ、併ナガラ此統帥
權ノ或ハ統帥體ナル者ノ其實質ニ付キマシ
テハ、深ク軍隊成立ノ根柢カラ又軍隊ノ國
家ニ於ケル地位ニモ、是ハ考察イタサナケ
レバ、私ハナラヌコトデアラウト思ヒマ
ス、統帥權ノ行使ハ他ノ諸政ノ總攬トハ聊
カ趣ヲ異ニスル點ガアルト私共ハ認メテ居
ルデアリマス、是ハ獨リ私ガ認ムルバカ
リデナシニ、我國ノ此立憲制度ニ於キマシ
テモ、又習慣ニ於キマシテモ事實サウ云フ
風ニ構成サレテ居リマスルノハ恐ラクハ御
承知ノコトデアラウト思ヒマス、ソレデ此
軍ノ統帥ハ既ニ勅諭ノ條項ニ於テモ明瞭デ
ゴザイマスル如ク、天皇ガ自ラ之ヲ統帥サ
レマシテ、是ハ事實ニ於テモサウナノデ、
ソレデゴザイマスルカラ統帥權ノ行使ト云
フコトハ、例ヘバ用兵策戰ト云フガ如キ問
題ニ付キマシテハ、陛下ノ是ハ軍令或ハ命
令トシテ、此上下左右ノ血液血管トナツテ、
指揮關係ト云フモノガ樹立セラレテ居ル、

ソコデ此主義者等ガ軍隊ヲ崩壊セシメヤウ
トスル者ハ其血液關係ヲ慢性的ニ侵蝕シテ
行クノデアリマシテ、是ガ今直グソレナラ
軍隊ニ向テ宣傳ヲシテ煽動ヲシタカラト
云ツテ、ソレガ今日ヤッタラ明日其效力、其
結果ガ現ハレルト云フモノデナクシテ、小
數ノ者カラ多數ノ者ニ及ボシ、又時日ノ經
過ニ依テ自然自然ニ慢性的ニ軍ノ精神ト云
フモノヲ痼痺セシメル、例ヘバ始めノ間ハ
上官ノ命令ニ口答ヲスルガ如キコトヲ非常
ニ軍紀上重大ノヤウニ思ヒマスルガ、段々
精神ガ痼痺シテ來ルト云フトマア普通ソ
ナコトハ少シ無理ヲ言ヘバ之ニ反抗スルト
云フコトハ當リ前ノヤウニ兵士ノ精神ガナ
テ來ル、仕舞ニハ正當ノ事デモソレガ自己
ノ利益ニ反スルヤウナコトガアレバ、其統
帥命令ヲモ否認ヲシテ敢テ怪シマナイ、其
次ニ至ツテハ自己ノ利益ニ關スルコトガ極
メテ重大デアレバ、結黨ヲ結ビ或ハ反亂ヲ
起シテ之ニ抵抗スルト云フコトガ段々是ガ
小ヨリ大ニ及シテ來テ、サウ云フモノガ壘
積シテ遂ニ軍ノ精神ト云フモノハ根本的ニ
腐敗ヲシテシマウ、是ハ古今ノ歴史ヲ見テ
モマア隨分サウ云フコトハ證明ガ出來ルダ
ラウト私ハ思フ、古ク求メナクデモ最近ニ
於テハニ革命ナドデモ露西亞トカ獨逸トカ
ノ革命ノ歴史ヲ御覽ニナレバ必ズ其點ニ於
ケル所ノ事實ヲ見出スコトガ私ハ容易ナコ
トダト思フ、今日是等ノ事態ニ照シテ、斯
ノ如キ法律ヲ設ケルト云フ場合ニ當ツテハ、
ドウシテモ此國體ヲ變革スルガ如キ其根本
的ノ作用ニ向ツテ十分ナル此考慮ヲ拂ッテ行
カナケレバ、適切ナル是ハ取締ノ方針ト云
フモノハ、私ハ出來難イモノデアラウト
考ヘル、ソレデ單ニ軍隊ヲ否認スル、或ハ
昨日私ガ申上ダマシタノハ軍紀ヲ破壞スル
ト申シマシタカラ、アナタ方ノ頭ニハ軍紀

ト云ヘバ唯軍隊内ノ事務ノ部類デアアル、斯
ウ云フ風ニ御感ジニナリマシタカモ知レマ
セヌケレドモ、私ノ軍紀ト申シマスルノハ
統帥權ノ……統帥ノ大權カラ流レテ來ル其
命令關係ノ其血液ヲ云フノデアアル、其血液
ガ腐敗シタナラハ統帥シヤウト云フモノ統
帥ノ目的物ハナクナツテシマウノデアアル、
恰モ軍ノ精神ヲ破壞スルト云フモノハ、謂
ハバ此憲法政體ノ議會ヲ否認スルト云フ
ガ如キモノト何等變ラナイモノト思フ、シ
テ見ルト云フト此軍ノ根柢ヲ打テ破ラウト
云フコトハ統帥ノ大權カラ及ボシテ即チ是
ハ國體ノ根柢ヲ破壞スルモノデアアル、斯ウ
云フ解釋ト云フモノガ得ラレル、即チ本法
ヲ以テ取締リ得ラレルモノデアナイカ、又
サウ云フ風ニスルノガ適當デハナイカト、
斯ウ云フ論ヲスルノデアリマス、ドウモ十
分ノ御考ノアル所ガ私ニハ分リマセヌ、併
シ同ジコトヲ何編繰返シテモ意見ノ違フコ
トハ止ムヲ得ナイト致シマシテ、唯今マデ
承ツタ所デハ、サウ致シマスルト云フト、
司法大臣ノ御考デハ事情ノ大ナルモノニ於
テハ國體ノ變革ノ中ニ入レテ解釋スルコト
ガ出來ル、斯ウ云フ仰セデアツタト考ヘテ宜
シウゴザイマス、此點ヲ伺ツテ置キマス

○國務大臣(小川平吉君) 實際ニ於テ此

矢張り軍隊ニアツテ軍律ヲ亂シタリ何カスル
モノニハ、ドウモ無政府主義者ノヤウナ者
ガ可成リアルヤウニ思フノデアリマスガ、
是ハモウ此分ダケデ行ケルト思フノデス、
私ハ思ヒ様ニ依ツテハ……併ナガラ此一般
ノコトニ付テハ先刻申上ダマシタ通り本法
ヲ拵ヘル前ニ既ニ此軍隊ノコトナドモ考慮
シタノデアリマスルガ、モウ少シ事情ヲ見
マシタ所デ、コトニ依ツタラ特別ニ又法律
ヲ作ルトカ、變ヘルトカスルコトニセネバ
ナルマイカト考ヘテ居リマス、斯ウ云フ解

釋カラ、色々ノ事情カラ此ニツタケノ無政府主義ト共產主義ヲ出シタ次第デアリマス、モウ少シ情勢ヲ見タ上デ、一ツ相當ナ方法ヲ執ラウト考ヘテ居ル次第デアリマス

○政府委員(山岡萬之助君) 速記ヲ止メテキタイ……

○委員長(公爵二條厚基君) 速記ヲ止メテ……

○委員長(公爵二條厚基君) 最早御質疑ガナケレバ午前中ヲ以テ質疑ヲ打切りタイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○子爵大河内輝耕君 チョト今一點私ハ文部大臣ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス、ソレカラ内務大臣ノ御出席ヲ願ヒタイト思ヒマス、先日來既々御質疑ガゴザイマシタノデ、最早御質疑モ結末ト存ジマスノデ、私ハ文部大臣ニ改メテ御尋ネ申上ゲタイ、ソレハ外デモゴザイマセヌガ、先日司法大臣ガ議場ニ於テ明言セラレタル如クニ、此法律ヲ出スコトハ誠ニ止ムヲ得ナイコトデア

ルガ、此法律ヲ出スニ至ラシメタ所ノ根本ノ事實ト云フモノハ、是ハ誠ニ遺憾ナコトデア

マシテ、殊ニ學校ノ方面ニ於キマシテモ、若シ假リニ惡化思想ガアルトシマスレバ、是ハ十分ニ御取締リニナツテ然ルベキコトデアラウト思ヒマス、又ソレヨリモ更ニ重大ナルコトハ此健全ナ思想ヲ鼓吹スル、即チ數千年來ノ日本ノ大和魂ヲ一般ニ鼓吹スル、是ハ何ヨリモ必要ナコトデアラウト考ヘル、所謂今日ノ言葉ヲ以テ言ハバ思想善導ト申シテモ宜シカラウト思フノデアリマスガ、此點ニ付キマシテハ或ハ師範教育改善ニ依リ或ハ青少年ノ訓練ニ依リ、色々ナ御施設モアルコトト思ヒマスルガ、私ノ考デハドウモ今一層何かモウ少シ方法ガアッテ然ルベキコトカト思ヒマスルガ、此點ニ付キマシテ教育當局ノ御意見ハ如何デゴザイマセウカ

○國務大臣(岡田良平君) 誠ニ大切ナ點デアリマスガ、斯ノ如キ法律ヲ設ケナケレバナラヌコトニ至ツタコトハ、遺憾ナコトデアリマシテ、必ズヤ斯ノ如キ事ナクシテ行クト云フコトニ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、勿論ハ教育ダケデ出來ルコトト思ヒマセヌガ、併シナガラ教育ガ非常ニ重大ナル關係ヲ有ツト云フコトハ、全ク御同感デアアルノデアリマス、デ私ハ就職以來施設イタシマシタ事柄ハ、多クハ矢張り此思想善導ト云フガ如キコトニ關係ヲ有ツタ、其意味ニ於テ施設ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯今御述ベニナリマシタヤウナ兵式訓練ノコトデアリマシテモ、ソレカラハ過日モ此處デ述ベタ事柄デアリマスガ、地方官ニ對スル訓令ナドモ、多クハ其精神ヲ以テヤツテ居ルノデアリマス、ソレカラ唯今御述ベニナリマシタ所ノ師範教育ノ改善ナドモ、私ハ是ハドウシテモ小學教員ノ精神カラシテ確カリト擣キ堅メテ行キマセヌケレバ、其效果ヲ舉ゲルコトハ

出來ヌト思フノデアリマス、今日迄ノヤリ來ツタ事柄ハ、マア露骨ニ申シマスト云フト、教育上ノ施設ハ店ヲ擴ゲル方ニバカリカヲ盡シテ來テ居ルト申シテモ宜シイカト思ヒマス、勿論ハ誰ノ罪ト云フコトハ言ヘマセヌ、決シテサウ云フ意味デ申スノデハナイ、罪ト申セバ私自身ノ罪モ大イニア

ルノデアリマスガ、兎モ角モ實際ノ必要ニ迫ラレマシテ間口ヲ廣ゲルコトハ、隨分今日ハ進歩シテ參ッテ居ルノデアリマス、從ッテ間口ガ廣クナツテ奥行ガ少イト云フヤウナコトガ、今日ニ於テハ教育上ノ弊害ヲ起ス原因ヲ爲シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、是カラ寧ろ間口ヲ廣ゲルコト云フコトハ相當ニ止メマシテ、奧行ニ進ンデ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、師範教育ノ改善ニ付キマシテモ、私ハ此意味ヲ以テ計畫ヲ致シテ居リマス、唯徒ラニ數

澤山殖ヤシマシテモ、不完全ナルモノヲ申シマスト云フト、安上リデ、簡便デ、都合ガ宜イト云フヤウナコトガアリマスケレドモ、サウ云フ不完全ナ教員ヲ澤山ニ養成イタシマシテモ、矢張り教育ノ根本精神ヲ定メルト云フコトハ出來マセヌノデ、從ッテ今ノ思想善導ト云フガ如キ目的ヲ達スルコトハ甚ダ困難デアリマスカラ、今回モ隨分一部ノ人ニハ反對モアルヤウデアリマス、ソレハ詰リ間口ヲ廣ゲル方ノ論ノ人、併シ私ハソレヨリハ縱令數ハ少クトモ、極ク堅實ナル教員ヲ養成イタシマシテ、總テノ教員ヲ斯ノ如ク致スコトハ容易ナコトデアハアリマセヌガ、セメテハ一學校ニ一人ヅ、モ斯ウ云フ堅實ナ教員ガ中心トシテ坐ハルト云フコトニナリマシタナラバ、餘程ハ思想善導ノ上ニ益スル所ガアルト思フ、ソレニハ相當ノ日子モ掛ケ、費用モ掛ケテ養成

ヲ致サナケレバナルマイカト思フノデアリマス、即チ今回ノ師範教育ノ計畫ヲ立テタ所以デアリマス、其他ノコトモ主トシテ此目的ニ向ッテヤツテ居ルノデアリマス、其他社會教育ニ付キマシテモ種々ノ施設ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、是ナドモ矢張り同様に目的ヲ以テヤツテ居ルノデアリマス、ソレデ只今ノ大河内子爵ノ御尋ハ何か其外ニモウ少シ適切有效ナル考案ガナイカト云フ御考ノヤウデアリマスガ、此點ニ付キマシテモ種々考慮ハ致シテ居リマス、唯經濟上ノ爲ニ……財政關係上ノ爲ニ障害ヲ蒙リマス、或ハ其他準備ノ届カヌ爲ニ障害ヲ蒙ルトカ云フヤウナコトデ、ナカ……理想

通りニ直チニ之ヲ實現スルコト云フコトハ出來マセヌガ、併シ此精神ヲ以テ將來向ホ一層努力ヲ致シテ行キタイト云フ考ヲ有ツテ居リマス、先ツソレダケノコトデアリマス

○子爵大河内輝耕君 文部大臣カラ唯今御説明ヲ伺ヒマシテ、其點ハ了承イタシマシタ、續イテ内務大臣ニ御尋ヲ致シマス、唯今茲デ申上ゲマシタ通りニ、海ニ斯ウ云フ法ガ出ル根本ニ至ッテノ事實ト云フコトニ付テハ、遺憾ニ堪ヘナイ次第デゴザイマスガ、是ハチョト話ハ前後イタシマスガ、唯今ノヤウナ思想善導、思想界ノコトモ必要デアルト同時ニ、生活ノ安定スルコト云フコトモ、是モ考ヘテ見ナケレバナラヌ、其點ニ付キマシテハ私ハ内務大臣ノ御説ヲ伺ヒタイ、社會政策ノ必要ナルコトハ從來一般ニ唱ヘラレテ居ル所デアリマシテ、之ニ付テハ政府モ相當ニ御考ヘノコトトハ存ジテ居リマス、併ナガラ財政上、其他ノ理由カラ行キマシテ、ナカ……是ガ思フヤウニ參ラナイ、歐米各國ノ狀況カラ之ヲ日本ニ比較シテ見ルト、尤御話ニナラナイ、是ハ併シ社會政策バカリノ點デハゴザイマセ

又、總テガサウデアアルカラ致シ方ガナイノ
デゴザイマスガ、時勢ノ進歩ハ決シテ日本
ダケヲ置イテキボリニシテハ行カナイ、モ
ウ普選ノ如キモ當然ノコトト云ハレ、殊ニ
今ノ有力者ノ間ニハ私有財産ノ否認ハ差支
ナイモノデアアルト云フコトサヘモ公言シテ
居ル人サヘモ出テ來ルヤウナ状態デゴザイ
マス、一般國民全體ニ互テ思想ノ進歩ト
云フモノハ著シイ、是ハ單ニ財政上ノ理由
カラシテ社會政策ノ施設ヲ急テ、居ル或
ハ理想通りニ行カナイト云フコトデアリマ
スレバ、一方ノ方ハジツシテ居ナイデ、
時勢ハドンドン進ンデ行クト云フヤウナ狀
態、此點ハ甚ダ遺憾ナコトト思ハレマス、
又金ノナイト云フヤウナ御話モ一應御尤モ
ノヤウニ伺ヒマスガ、豫算或ハ決算ナドヲ
審査スルト、預金部ノ狀態ナドハ能ク見テ
見ルト、或ハモウ少シ此方ニ持ッテ行ッテ御
使ヒニナルコトモ出來ナイコトハナイヤウ
ナ具合ニ、私ハ考ヘラレマスノデスガ、之
ニ付キマシテ内務大臣ノ御意見ハ如何デゴ
ザイマセウカ、何カ又將來御計畫ニナルヤ
ウナコトデモ御アリニナルナレバ此際御洩
シテ願ヒタイ

○國務大臣(若槻禮次郎君) 社會政策ガ國
家ノ經營上最モ必要ナモノデアアルト云フコ
トハ、申上ダマス迄モアリマセズ、現下ノ
如キ思想ニナツテ居ルト否トニ拘ラズ、此
社會政策ナルモノハ相當ニ實行シテ行カン
テレバナラヌト思ッテ居リマスガ、殊ニ國民
ノ思想ガ幾ラカ動搖シテ居ルト云フヤウナ
際ニ於テ、大河内子爵ノ御話ノ如ク精神的
ノ思想ノ善導ト云フ外ニ、衣食ヲ足ラシメ
ルト云フ方面カラ物質的ニモ生活ノ安定向
上ヲ圖ッテ參ラナケレバナラヌト云フコト
ハ、モウ其通りデアリマス、是非サウアラ
ネバナラヌト思ヒマス、内務省所管ノ事

業、殊ニ内務省ニハ社會局ト云フモノガ所
管シテ居ルノデアリマスカラ、此方ノ施設
デモト大イニ執行シナケレバナラヌコト
ノアルコトハ、私モ十分認メテ居リマス
ガ、目下デモ及ダケノコトハ致シテ居ル
積リデアリマス、社會局當然ノ仕事ノ外
ニ、丁度此誠ニ不幸ナルコトデアリマシタ
ガ、東京市ノ大災害、關東地方ノ大災害ノ
爲ニ、國內ハ固ヨリ海外カラモ義捐金ナド
ガアリマシタガ、其金ノ使ヒ方ノ上ニ於
テ、恰モ幾ラカ住宅ヲ供給スルトカ、或ハ
貧者ニ對スル救助ノコトヲスルトカ云フヤ
ウナルコトガ出來得ルコトニナツテ居リマ
スルノデ、サウ云フ方面ノコトモ出來ルダ
ケ試ミツ、アルノデゴザイマス、ソレカラ
預金部ノ金ノ放資ニ付テモ、御承知ノ通り
大抵此社會的事業ノ爲ニ年々低利資金ヲ使
フト云フヤウニナツテ居リマス、是ニ於テ
モ可ナリニ其施設ガ行ハレテ居ル譯デアリ
マスガ、今迄ハ隨分其預金部ノ金ノ使ヒ方
ガ世間ガ見テ不穩當ト云フ方面ヘモ行ッテ
居ッテヤウナ部分モアリマシタケレドモ、
此度ノ法律ノ改正ニ依ッテ預金部ノ資金ノ
放資ニ付テハ一委員ノ意見ニ依ッテ之ヲ
決メルト云フコトニナリマシタカラ、斯ウ
ナルト是迄ノ放漫ナル放資ノ仕方ハ段々止
ンデ、サウシテ一方ニ確實ニ、而シテ一方
ニ社會政策的ニ、此預金部ノ資金ガ使ハレ
テ行キ得ルヤウニ、益々傾イテ行クト云フ
コトト私ハ信ジテ居リマス、而シテ内務省
ガ刻下社會政策トシテ一番行ハナケレバナ
ラヌモノハ、既ニ成立ッテ居ル法律ニシテ
實行セラレテ居ラナイモノガアリマスカ
ラ、此法規ノ實行ヲスルコトガ先ツ第一歩
デアラネバナラヌト思ヒマス、即チ疾病保
險トカ傷害保險トカ云フヤウナ健康保險法
ト云フモノガ、既ニ成立ッテ居リナガラ、

其施行ガマダ出來テ居リマセヌ、實ハ今
年ノ一月カラ之ヲ施行シタイ考ヘデ、昨年
ノ特別議會ノ時カラ之ヲ求メテ居リマスル
ガ、財政ノ都合デハ行ハレヌ、ソコデソ
レナラバ來年ノ...本年ノ四月一日カラ之
ヲ行ヒタイト云フノデ、十四年度ノ豫算ノ
時ニモ之ヲ要求シテ是ガ實行ヲ努メタノデ
アリマスガ、何分既ニ成立シテ居ル豫算迄
モ削減セナケレバナラヌト云フヤウナ状態
デアルモノデアリマスカラ、財政ガ之ヲ許
サズシテ延ビテ居リマスガ、此ノ點ニ付テ
ハ政府デモ特ニ、此十四年ニ施行セナイト
云フコトヲ知ル時ニ意見ヲ定メテ居リマシ
テ、十五年度ニ於テハ此問題ニ付テハ重キ
ヲ置イテ考慮スルト云フコトニ、財政當局
モ言ウテ居ラルル位デアリマスカラ、私ハ
十五年度カラハ必ズ此健康保險法ノ實施ア
ルコトヲ期待シテ居ルノデアリマス、ソレ
ノミナラズ、此失業率ナドニ對シテモ、ソ
レゾレ法案ヲ作ラナケレバナリマセヌガ、
此失業ト云フモノハ如何ナル經濟政策ヲ樹
テテモ如何ニシテモ、一年中ノ季節ニ依ッテ
ハ、外働クコトノ出來ヌ勞働者ハ其時ニ
ハ業ヲ失フヤウニナル、ソレカラ又經濟上
好景氣不景氣ト云フモノハ、是ハモウ波ヲ
打ッテ必ズ來タルモノデ、水平線ノ様ニ行
カヌコトハ是ハ申上グル迄モナイノデアリ
マス、好景氣ノ時ニ大イニ事業ヲ擴張ス
ル、勞働者ハ職ヲ得ル、ソレニ依ッテ生産ガ
餘リ超過スルト、品物ハ堆積スル、ソコニ
色々不況ガ生ジテ來ル、事業ハ一時縮小ス
ル、失業率ガ生ズル、此關係ハ今後ト雖モ
必ズ生ズルノデアアル、之ヲ全然無クスルト
云フコトハ到底出來マイト思ヒマス、周期
的ニ失業率ヲ生ズルト云フコトハ免レナ
イ、サウ云フコトガアリトスレバ、失業者
ナルモノハ如何ナル經濟政策ヲ執ッテモ、

時ニ依ッテ現ハレルモノデアアルト云フコト
ヲ認メル以上ハ其現ハレタ時ニ對スル方法
ヲ立テ置カナケレバナラヌ、ソレニハ丁度
歐米デ行ッテ居ルヤウナ失業保險ト云フモ
ノガナケラネバ、サウ云フ場合ニ於ケル失
業者ノ生活ヲ一時維持シヤウト云フコト
ハ出來マセヌカラ、日本ニ於テモ早晚ハソ
コ迄進メナケレバナラヌト思ヒマス、然ル
ニ今日デハ失業保險ヲ立テヤウト思ヒマシ
テモ、失業ノ統計ガ採ッテアリマセヌカラ、
統計制度ヲ立テントシテモ其基礎ガ出來テ
居ナイト云フヤウナ情勢デアリマス、ソレ
故ニ財政緊縮ノ場合デ成ベク政費ヲ節約ス
ル場合デアリマシタケレドモ、失業統計ヲ
採ルダケノ經費ハ今回ノ豫算ニ要求シテ居
ルノデアリマスカラ、是ガ成立イタセバ、
茲ニ失業統計カ得ラルル、失業統計ヲ得マ
スト云フト失業保險ニ掛ル基礎ガ出來テ來
ル、其基礎ガ出來タ時ニ法制ヲ案ジ、財政
ト相俟ッテ之ヲ實行スルト云フヤウニシテ、
徐々ニソコ迄及ビタイト思ヒマス、何分目
下ノ財政デ何時迄モ行クモノデモアリマス
マイガ、目下ノ所ハ財政甚ダ窮乏シテ居ル
ヤウナ狀態デアリマスカラ、思フ通り物事
ノガ參リマセヌ、併シ物質的ノ關係ニ於ケ
ル社會ノ安定向上ヲ圖ラヌケレバ、丁度御
心配ニナルヤウナ點ガ、唯精神的ノミノ感
化ヲ以テ行カウトシテモ、ソレデハ出來ヌ
ト思ヒマスカラ、内務省所管ニ於テ爲スベ
キコトハ私ハ此財政ノ許ス限リニ於テ、材
料ガアツテ計畫ノ立テ得ラレル限リニ於テ、
成ルベク進ンデ之ヲ實行シタイト考ヘテ居
リマス次第デアリマス、細カイコトハ此處
ニ材料ヲ持マセヌノデ、社會局ナドノ實
行シテ居ルコトヲ申上ダマセヌガ、今日ノ
豫算デ實行シ得ルコト、唯今手許ニアル資
金ノ利息デ實行シ得ルコトハ、色シナ事ヲ

ヤッテ居リマスケレドモ、餘り繁瑣ニ亙リ
マスカラソコ迄ハ申上デマセヌコトニ致シ
マス

○男爵田健治郎君 幸ヒ内務大臣ガ才出デ
ニナリマシタカラチヨット御尋ネシタイノ
デスガ、矢張り今大河内子爵ノ御尋ネニナ
タ趣意同ジナデス、詰リ民生ノ安定ト
云フコトニ付テ、唯私ノ御尋ネスルノハ一
般デナクシテ一地方デアリマス、ソレハ沖
繩縣デゴザイマス、一地方デアリマスケレ
ドモ、其沖繩縣ト云フ一縣ノ民生ガ非常ナ
困苦ニ陥ッテ居ルト云フコトヲ耳ニスル、
ソレハドウ云フコトカト云フト、四五年前
ニ一遍アッタサウデアリマスガ詰リ殆ド融通
ガ止マッテ仕舞フ程ニ窮迫スル、ソレハドウ
云フ譯デサウ云フコトニナルカト云フト、
沖繩ト内地ニ於ケルトノ取引ガ、ソレガ其
所謂輸入超過ニナル譯デス、國ノコトデ言
ヒマスト……詰リ沖繩ノ内地ヘ生産物ヲ賣
ルノト、サウシテ又賣ッテ取ル金、即チ砂
糖ナドガ主デアリマスガ、ソレト而シテ内
地ヘ出ス金、即チ内地カラ品物ヲ買フテ、
其代價ヲ拂フ金、ソレヲ比較シテ見ルト云
フト凡ソ年ニ五百万圓位移入超過ニナル、
詰リ金ガ出ル、其所デ以テソレダケ貧乏ス
ル譯デアリマスルガ故ニ、三、四年前ニ殆ド
窮迫ノ位置ニ陥ッテ政府カラ援助ヲ受ケ、
金ヲ借りテ漸ク凌イダコトガアルサウデア
リマス、此頃新聞デ見ルト豫算委員會デ阪
本彰之助君ガ沖繩縣ヘ金ヲ貸シタガ、チヨ
トモ取立テテ居ラヌノハ實ニ怠慢モ甚ダシ
イ、何ヲ一體地方官ハシテ居ルカト云フヤ
ウナ御尋ガアッタ、是ハ新聞デ見タノデア
リマスカラ確ナコトハ申セマセヌガ、御尋
ネガアッタヤウニ新聞ニアリマス、矢張り
ソレナノデ、ソレガ今年再ビ出タ、ドウ云
フ状態ニナッテ居ルカト云フト四ツノ銀行

ガアルサウデスガ其四ツノ銀行ガ殘ラズ閉
鎖シテ仕舞フ、締切ッテ仕舞フ、金ガナク
ナッテ仕舞フ、タカラ締切ッテ、サウスルト云
フト地方稅デ俸給ヲ貰ッテ居ル者モ、町村
費デ俸給ヲ貰ッテ居ル者モ、例ヘバ郡役所
ト云フモノハ地方稅、又學校教員トカ云フ
ヤウナ類ノ者ハ町村費デ貰フ、其給料ガ既
ニ三ヶ月、四ヶ月貰フコトガ出來ナイ、丁
度支那ノ政府ノ役人ナド同ジヤウナ形ヲ
現在現シテ居ル、其所デ終ニ取敢ズ大藏省
カラ二三十万圓ノ金ヲ貸付ケテ取敢ズ大藏省
方稅ノモノヲ救ハレタト云フコトデアリマ
スルガ、其町村費デ以テヤル給料ヲ受ケテ
居ル學校教員、小學校教員ナドガ果シテ救
ハレテ居ルヤ否ヤ、マダ私ニハ分リマセ
ヌ、サウ云フ譯デ非常ニ窮迫ニナッテ居ル
ト云フコトヲ沖繩ノ地方ノ者カラ聞クノデ
アリマス、是ハ内務省デモ、大藏省デモ若
クハ農商務省アタリデモ種々ノ關係ガアリ
マセウガ、主トシテ先ヅ取締リニナルベキ
ノハ内務省ノ御所管デアアルノデアリマス
ルガ、是ハドウ云フ工合ニナッテ居ルカ、此
コトハ私ハ臺灣ニ久シク居リマシタカラ臺
灣ノ例ヲ引イテ見ルト云フト誠ニ感ジガ分
リ宜イ、例ヘバ臺灣デ一番實ハ腹ノ内デ注
意シタコトハソレデアリマス、經濟上ニ於
テハ臺灣ト云フモノハ兎ニ角貿易ノ上ニ於
テ幾ラカ緩ミガアリツツアルノカ、貧乏シ
テ行キヨルノカ、ト云フコトヲ見ル、所ガ
臺灣デハ外國貿易ハ所謂移入超過デアリマ
ス、百万圓カ二百万圓カ、外國品ヲ買フノ
ガ多イノデアリマスルガ、内地トノ貿易ニ
至ッテハ少ナクとも四千万圓乃至八千万圓
位移出超過、即チ臺灣ヘソレダケノ金ガ、
四千万圓乃至八千万圓ト云フモノガ一年ノ
内ニ内地カラ餘計取ッテ居ルト云フ譯ニナ
ルカラソレダケ臺灣ハ儲ケテ居ルカト云フ

ト、サウハ行カナイ、何故イカナイカト云
フト、此砂糖ニ何億カノ投資ガシテアッテ、
臺灣生産物ト言ヘバ砂糖ガ第一デアリマス
ガ、此殆ド砂糖ノ放資ト云フモノハ内地人
ノ資本ガ下リテ居ルノデアリマスカラ、其
砂糖會社ノ株主ヘ拂フ所ノ利益配當ト云フ
モノハ其臺灣カラ拂ハナクテナラヌカラ、
ソレデスカラ、四千万圓ノ移出超過
デ、臺灣ハ身上ハ延ビナイノデアラウ、即
チ拂ッテ仕舞フ砂糖會社ノ配當ヲ拂ッタラ
零ニナルデセウ、併シ八千万圓モ移出超過
ニナル場合ニナルト云フト幾ラカ延ビルト
云フ風ニナルデアラウト私ハ考ヘル、是ガ
即チアア云フ隔ッタ一ツノ獨立ノ會計ヲ有
テ居ル所デハ非常ニ大切ナ事柄デアアルノデ
アリマス、民生ヲ容易ナラシメル、安定ヲ
得セシメルニ付テ最モ注意スルコト、ソレ
ガ小サナ琉球、此琉球ニ於テ年ニ約五百万
圓、是ハ其五百万圓ガ果シテ確實ニ當ッテ
居ルカ、當ッテ居ラヌカト云フコトハ容易
ニ判定ハヤウ致シマセヌガ、彼ノ地方ノ者
ノ言フ所ニ依ルト云フト年ニ五百万圓程詰
リ貧乏シテ居ル、其内三百五十万圓ハ酒
ノ稅ダケデモ内地ヘ納メタラヌ、テ來ナイ
モノデアルト云フコトヲ申シテ居ルノデア
リマス、サウ云フコトデ以テ殆ド銀行ハ閉
鎖シテ仕舞フ、學校教員ガ給料ヲ貰フコト
モ出來ナイト云フヤウナ有様ニアッテハ是
ハ實ニ人心ガ動搖セザルヲ得ヌ、流離轉沛
ノ悲況ニ陥ル譯デアリマス、是ハ内務省デ
モ定メテ御調ベニナッテ居ルコトトハ存ジ
マスルガ、御調ベニナッテ居ッテ略御分リ
ニナッテ居レバ、大體ノ御見込ミヲ承リタ
ウゴザイマス、マダ十分御調ベニナッテ居
ラナケレバ私ハ希望の質問シテ其ノ、十
分御調ベニナッテ、ドウカ救済ノ方法ヲ御
立テニナラント、矢張り琉球ナドモドチラ

カト云フト内地ヘ新附シタ民デアリマス、
是ガサウ云フ悲況ニ陥ッテ居ルト云フコト
ハ、是ハ非常ナ事柄ト存ジマスルカラ、御
意見ヲ承リ、且ツ希望の質問ヲ致シマス
○國務大臣(若槻禮次郎君) 只今男爵ノ
御質問ハ誠ニ重要ナル事柄ニ付テノ御質問
デアルト思フノデアリマス、大體御承知ノ
如ク沖繩縣ト云フ所ハ砂糖ニ依ッテ生活シ
テ居ル所デアリマス、全島砂糖ヲ作ッテソ
レヲ賣出シテ其金デ自分等ノ需要物ヲ求メ
テ居ル、ソレデ以前ハ其砂糖ヲ大阪ニ賣
テ金ヲ入レルマデニ前借リヲシテ……ソレ
ハ鹿兒島邊ノ人等ガ資金ヲ投ジテ前貸ヲシ
テ、サウシテソレニ依ッテ食糧ヲ得セシメ
テ砂糖ヲ作ルト云フヤウナ、誠ニ不見目ナ
境遇ニ居ッタノデアリマス、是ハ沖繩縣モ
サウデアリマスガ、鹿兒島縣下ノ大島モ同
様ノ關係デアリマス、ソコデマア砂糖ノ値
段ヲ何トカシテ好クセシメル外、砂糖ノ製
造上ニモ改良ヲサセテ成ベク中間ノ前貸ヲ
シタ人ニ誅求セラレナイヤウニシテヤルト
云フノガ、是ガ明治聖代多年ノ政策デ、彼
所ニ糖業試驗場ヲ拵ヘタノモ皆ソレデアリ
マス、其後砂糖ノ改良モ出來、產額モ増加
スル、ソレカラ交通ノ便利モ宜クナッタト
云フヤウナ種々ナル關係カラ前借リヲシテ
苦シムト云フヤウナ情勢ガ、全然ナクナリ
ハシマセヌケレドモ、若干緩和サレテ居
タノデアラウト私ハ思フノデアリマスル
ガ、最近ニ於ケル慘狀ハ結局斯ウデアルト
私ハ思フテ居ルノデアリマス、砂糖ガ大變
上ツタ、ソレデ沖繩ハ大變都合ガ好カッタノ
デアリマス、好タカラ彼所ノ人ガドウモ
思惑ガ生ジテ來タ、ソレデ銀行ヤ何カノ者
ガ餘程ソツチノ方ヘ頭ヲ向ケテ見込ミ立タ
ヌ事業ヲ企テタリ、或ハ一時評判ニ依ッテ
値段ヲ保ッタ株券ニ投資スルト云フヤウナ

コトヲ段々ヤツタ爲ニ反動ガ來タ、反動ノ來タ時ニハ丁度經濟界ガ一般ニ不況ニナリ、其上ニ砂糖ノ値段ガ下ツタ、唯一ノ產物ト云フテ宜イ位ノ砂糖ガ下ツタ所ヘ持ッテ來テ稍、思惑的ニナッテ來テ居ッタノガ、突然ト反動ガ來タノデアリマスカラ、兩方面カラ非常ニ悲況ニナツタ、其中、アスコニ銀行ハ四ツバカリアリマス、名前ハ悉ク承知イタシマセヌガ、商業銀行トカ、沖繩銀行トカ、何銀行、何銀行、其四ツノ銀行ト云フモノガ、皆支拂不能ノ狀態ニナツタノデアリマス、ソレニ付イテ私ノ許ヘ、過日銀行ヲ救済シテ呉レナドト云フテ運動ニ來タ人ニ對シテモ、銀行ノ救済ニ對シテハ考ヘナケレバナラヌト思ッテ居ルシスルカラ努力シヤウ、又努力シツ、アルノデアルガ、現ニ重役ニ向ッテ私ハ非常ニ怒ッタノデス、何ト云フ心得デ、一體サウ云フコトヲヤツタカ、ソレデ一方ニ銀行ノ救済ノコトハ努力スルガ、又一方ニ重役ニハ、一邊牢ノ中ニ這入ッテ來ナケレバナラヌト云フコトヲ、ソコニ理事官ヲ置キ、重役ニ對シテ叱リ付ケタ位デアリマス、其位デアリマス、銀行ニ預ケテ居ッタ預金者ト云フ者ハ、皆取ルコトガ出來ヌ、ソレカラ地方費モソコニ預ケテ居ル、町村費モ預ケテ居ル、是ガ支拂ヒガナイカラ地方費ノ支拂ヒヲ受ケル役人ハ給料ヲ拂ッテ貰ウコトガ出來ズ、ソレカラ町村吏員ハ町村ノ給料ヲ受ケルコトガ出來ヌト云フ情勢デ、大變困ッテ居ルノデアリマス、ソコデ本當ニ云ッタナラバ、現ニサウ云フ銀行ニ預ケテ：其預ケタノハ、實ハ農工銀行ニ預ケテ居ッタノデス、農工銀行ハ、今ハ勸業銀行ノ支店ニナリマシタカラ、其儘デ居レバハサウ云フコトニナルモノデナイノデ、前任知事ガ其預ケ金ヲ皆農工銀行カラ取り上ゲテ、今ノ銀行ニ預ケ

テシマツタ、ソレデ地方費、町村費ノ支拂ヒヲ受ケルコトガ出來ヌト云フヤウナコトニナツタ、サウ云フ公共團體ノ財政ヲ掌ッテ居ル人間自ラサウ云フコトヲシタノデ、ソレガタメニ缺損ニナツタノデカラ、モウ一邊救済シテ取レサヘスレバ宜イ、理論ハソレデ宜イ、ソレデ沖繩ノ如キ處デ一邊税金ヲ取ッテソレガ缺損ニナツタラモウ一邊税金ヲ取ルト云フノジヤ、逆モイカヌト思ヒマシタカラ、ソレデ政府デハ、前年度ノ豫算實行ニ付イテハ、實行豫算ト云フモノヲ作ッテ居リマスガ、併シ其豫算ノ金額ハアルノデアリマスカラ、其差額ノ中カラ二十一萬圓デアリマシタカ出シテ、其縣ニ貸付ケタシタノデアリマス、ソレカラ又此タビ十三年度ノ追加豫算ヲ出シテ三十萬圓ト云フモノヲ出シテ、是ヲ又貸付ケテ、地方費ノ支拂ニ屬スルモノデ、國ノ缺損ニナラムトシテ居ルモノデ、此三月末マデニ拂ハナケレバナラヌモノダケニハ、是ダケ貸シテヤレバ支拂ヒガ出來ルト云フコトデ、コナラカラ貸シタノデアリマス、阪本彰之助サンハ、前ニ貸シタモノヲナセ取ラヌカト云フコトデナカッタノデアリマス、一體公共團體ガ金ヲ使ッタ時ニ、國庫カラ金ヲ貸スト云フコトハ、ドウ云フコトデアラウ、サウ云フコトニナレバ、沖繩バカリデナイ、内地ニモ方々ニアルカラ、ソレモヤルカ、ソレハ大體筋ガ違ウデヤナイカト云フ質問デアッタト思ヒマス、此質問ガアッタニ拘ラズ、沖繩ハ特別ナ所デアリマスカラ、貸付ケガ必要ダト考ヘテ居リマス、ソコニ加ヘテ沖繩ニ於テハ、何年デアッタカ記憶シマセヌガ、縣制ヲ施行スルニ至リマシタ、其前ニアスコハ特別地方制度デ、府縣制ガ實行ニナツテ居ナカッタノデアリマス、ソレヲ又沖繩縣モ府縣制ヲ實行シテモ宜イト云フノデ

府縣制ヲ實行シタ、府縣制ヲ實行シマス云フト、縣ハイロ／＼ノ事業ヲ計畫シタカラ、ドウシテモ、縣ノ財政ハ膨脹スル、ドウモ沖繩縣民ハ、其膨脹ニ耐ヘルニハ、大分力ガマダ足りナカッタト思ヒマス、元來沖繩ニハ、少シ餘計ナ重荷ヲ縣制ニ依ッテ負ハセテ居ル所ヘ持ッテ行ッテ、砂糖ノ値段ガ下ツタメニ、經濟界ノ反動デ、銀行ハ皆破産シテシマウ、預金者ハ、預金ヲ取ルコトガ出來ズ、サウシテ其銀行ヘ預ケテ居ッタ地方費、或ハ町村費モ出ナイト云フ狀態ニナツタノデアリマスカラ、是ハ他ノ地方ヨリモ大分特別ニ見ルベキ狀態ニアリマスノデ、ソコデ公共團體ノコトハ、國庫デ關ハレヌト云フコトハ言ッテ居レヌト思ヒマスカラ、實行豫算ノ差額ヲ出シ、或ハ追加豫算デ金ヲ取ッテ出スト云フコトニ致シタノデアリマス、所ガソレヲヤツタ所デ預金ナリマス、矢張り非常ニ困ルノデアリマスカラ、ソレデアリマスカラ、銀行ヲ何トカシテ助ケタイ、此銀行ヲ整理シテ助ケルト云フコトガハ、何モ君等ノタメニハ、何モ整理ニ努力スル考ヘハチャットモナイガ、預金者ガ可愛サウデアアル、氣ノ毒デアアルカラ、銀行ノ整理ニ付イテハ自分ハ努力スルケレドモ、重役トシテ一體斯ウ云フコトヲ仕出カシタト云フノハドウ云フ譯デアアルカト云フノデ、内務大臣ノ官舎デ大分買メ付ケタノデアリマスガ、之ニ付イテハ大藏大臣ニモ相談シテ、何トカ整理ヲ付ケテ貰ヒタイト言ッテ居リマスガ、何分マア極端ナ言葉デ言ヘバ大ボロヲ出シテ、仕末ノ出來ケヌコトニナツテ居リマスカラ、從ッテ整理ノ方法ガ立タヌデ居ルノデアリマス、ソレ故ニ大藏省デモ、マダ斯ウヤツテ整理スルト云フ所マデ至ッテ居リマセヌガ、内務當局

トシテハ是ハマアドウモ損ニナツテモ救済資金位ヲ纏メテ出ス位ニシテモ、此銀行ヲ一ツ整理ヲ付ケテヤリマセヌト云フト、何ヲ抛ッテ置イテモ此金融機關ヲ先ヅ一ツ回復シテ、是ガ支拂ヒガ出來ルト云フコトニナツテ、豫金者ニ幾ラカ支拂ヒヲスルヤウニナレバ、ソレノミデモ、沖繩ノ今日ノ經濟上ノ悲境ハ隨分酷イノデアリマスケレドモ、大體救フコトガ出來ルノデゴザイマスカラ、一方ニハ預ケテ居ッテ、今支拂ヒヲ受ケルコトガ出來ヌデ困ッテ居ル、地方費ニ對シテ貸付ヲスル、一方ニハ預金者ガ支拂ヒヲ受ケヌデ困ッテ居ル、是モ銀行ノ整理ヲシテ何トカ救済シテヤリタイト云フノデ、大藏省ニ向ッテ、現ニ内務省カラ交渉シテ居ルヤウナ情勢デアリマス、此情勢ハ田男爵ガ御憂慮ニナル通り、實ニ馬タコトデアリマス、ソレニアスコハ、外ノ内地ノ一般トハ事情ガ違ッテ居リマスカラ、殊ニ其點ハ注意シナケレバナラヌト云フコトデ、專ラ此問題ニ對シテ十分ナコトガ出來テ居ナイコトハマア遺憾デアリマスガ、十分氣ガ付イテ居リマスノデ、何トカシナケレバナラヌト云フコトニ付イテハ考ヘテ居リマス

○男爵田健治郎君 唯今内務大臣ノ御説明デ非常ニ御高配ニナツタ趣キヲ承ッテ其點ハ大イニ満足デアリマス、唯先刻私ノ申シタ銀行ノ蹉跌ト云フコトモ無論ソレガ一番大イナ誤リニ相違ナイカラ、ソレモ相當ナ御高配ニナルコトヲ望ムノデアリマスルガ、根本問題ハ其輸入ノ平均、即チ貧乏シテ行キヨルト云フ：五百萬圓ト島民ハ言ヒマスガ、ソレガ過半ハ租稅即チ酒ノ稅デ、内地ヘ取ラレルノガ非常ナ金融ヲ枯渴スル原因ト云フコトヲ言ヒマスガ、是ハ調ヘテ見マセヌト分リマセヌガ、兎ニモ角ニモ、

病源ヲドウカシテ、是ハ内務大臣バカリノ
何バカリデナクシテ、農商務大臣ナドモ、
最モ心配セラルベキモノデナカラウカト思
ヒマスガ、何トカ此御救済ニナル途ヲ立テ
ラレル御工夫ガアルカドウカ、出來ルダケ
ノコトハ一ツ御盡シヲ願ヒタイ、是ダケノ
希望ヲ申シテ置キマス

○國務大臣(若槻禮次郎君) モウ一ツ御參
考ニ申上ダテ置キマスガ、此島地ノ所ハド
コデモ、其現象ガアルノデ、伊豆七島デ
モ、小笠原デモ、ソレカラ鹿兒島縣下ノ大
島デモ、沖繩デモ皆限ラレタル生産物ヲ以
テヤツテ居リマス、一方ニハ人間ハ社會ナ
ミニ少シジ、向上イタシマス、其生産物
ハ、其値段デナイト云フコトガ事實アルヤ
ウデアリマス、出ル金ハ殖エルガ、這入ル
金ハ殖エナイ、併シタマ砂糖ノ稅酒ノ稅ハ
斯ウ云フ關係ニアルノデアリマシテ、酒ノ
稅ヲ取ラレバ、ソレダケ高ク内地ヘ賣リ
マスカラ、税金ハ取ルダケ、内地カラ代金
ガ這入ッテ居ル譯デス、砂糖ニ付イテモ、左
様ニ税金ハ取ラレルダケ、ソレダケ高イ値
ヘ賣レテ居リマシテ、ソレダケ差引キ代
ハ這入ル譯デスケレドモ、其一般ノ島ノ經
濟トシテハ、入ルヨリモホカカラ自分等ガ
日常ノ生活ニ要スルモノヲ買フ方ノ額ガ多
イ、此關係ハ實ニ島國ニ付テ何處ニ行ッテ
モ困タモノデアリマス、併シ困タモノデ
アリナガラ其點ニ付テ注意ヲシテ行カンケ
レバナラヌト云フコトデ、十分注意ヲ致シ
マス

○委員長(公爵一條厚基君) 是デ休憩シマ
ス、午後二時カラ開會イタシマス

午後零時四十一分休憩

午後二時五分開會

○委員長(公爵一條厚基君) ソレデハ午前

ニ引續キマシテ開會イタシマス、午前ニ申
上ダマシタ通り御異議ガナケレバ是カラ討
論ニ移リタイト思ヒマスガ如何デスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○岡喜七郎君 別ニ異議ハアリマセヌガ、
チヨット討論ニ這入ル前ニ御尋ネシテ置キ
タイノデスカ、簡單ナコトデス

○委員長(公爵一條厚基君) 簡單ナコトデ
スカ

○岡喜七郎君 ハイ、司法大臣ハ定メテ御
存ジアリハシナイカト思フ筋ガアリマス
ガ、近頃此法案ガ通過シタ場合ハ云々ト云
フ恐ロシイ葉書ヲ貴族院議員全體デアリマ
スカ、個人々々デアリマスガ、配布イタシテ
居ルノデアリマス、是ハ既ニ犯人ト云ヒマ
スカ何カ分リマシタノデアリマスガ、マダ
警察署ノ方デ舉ラナイノデアリマスガ、チ
ヨット承ッテ置キマス

○國務大臣(小川平吉君) マダ聞キマセヌ
デスカ、先達テ調ベテ見タ所ガ方々カラ葉
書ガ來ルヤツガ場所ハ違ッテ居ルガ手ハ同
ジデマダ……

○岡喜七郎君 餘程酷イコトヲ書イテ居ル
ノデ大臣ノ御手許ニ吾々ノ同僚ノ人デア
ルカ、御目ニ掛ケテ置イタト云フコトデア
リマスガ、是ナドハ速ニ西園寺公ノ所ニ行ッ
テ相談ヲ遂ゲタガ宜カラウ、此法案ガ通過
スルト是ニノ方ニニ危害ヲ加ヘル、國家ノ重
大事件ト思フカラ豫メ元老ニモ相談シテ來
タラ宜カラウト云フヤウナ、其西園寺公ノ
所ヘ行ッテラバト云フヤウナ氣ノ付ク程ノ
考ノアル者デアアル、殊更ニ手届ヲ禾扁ニ換
ヘテ見タリシテ、文字ヲ知ラヌ如ク裝フ
テ、同ジ意味ノ葉書ガ配布シテアル、是ハ
餘程酷イモノデアアル、マダ分カラヌノデゴ
ザイマセウカ

○國務大臣(小川平吉君) 最近ニマダ聞イ

テ見マセヌガ、今御話ノ葉書ハ警視總監ニ
渡シテ警視總監ノ手デ段々集メテ見ル所
ガ、今御話ノ葉書ノ通りノ字ノヤツガ七八
枚アルノデス、場所ハ違ッテ方々カラ出シ
テアル、各地カラ、地方ヲ異ニシテ居ル
ソレデ犯人モ同一ノコトモ能ク分ッテ居ル
シ、字モ可成リ書ク奴デスカラ、是ハ分ラ
ナイ譯ハナイカラト云フコトデアッタデス
ガネ、其後マダ聞キマセヌガ、分リサウナ
モノダト思ッテ居リマス、ソレカラ外ニモ
ソナナモノガチヨイ「アッタガ、其人間
ノ筆ガ一番多イヤウデス、同ジ奴ガ……ソ
レデアレハドウドモドノ位ノ人間カチヨット
嚇シノ奴デヤナイカト思フノデスカ、外ニ
モ隨分不穩ナコトヲ言ウタノガアリマス
ガ、思ッタイヨリ少イ、私ノ所ナドヘ總計ド
ノ位來マシタカ、五六通シカ來ナイヤウデ
スカ、兎ニ角警視廳デハ是非引舉ゲルト云
テ居リマス、是ハ舉ガラスコトモアルマイ
ト思ッテ居ル次第デアリマスガ、必ズ今ニ
舉ガルダラウト思ッテ居ルノデアリマス

○岡喜七郎君 サウ云フコトニナッテ居レ
バ結構デスカ、一ツ是非共發見サレルヤウ
ニ願ッテ置キマス

○委員長(公爵一條厚基君) ソレデハ是デ
質疑ヲ打切りマス、是ヨリ討論ニ入リマス
○于爵大河内輝耕君 先達來段々皆サンカ
ラ御質問モゴザイマシテ、大概趣旨ノアル
所ハ分ッテ居リマス、今日此法案ヲ通スト
云フコトハ必要止ムヲ得ナイコト、思ヒマ
スカラシテ、此政府提案通り可決セラレテ
然ルベキモノカト思ヒマス

○岡喜七郎君 本員モ此法案ハ今日ニ於テ
不十分ナガラ止ムヲ得ナイコト、考ヘルノ
デアリマス、過グル大正十二年デアリマシ
タカ過激法……所謂過激法案ト云フモノガ
提出ニナリマシタ時ニ隨分衆議院ニ於テモ

貴族院ニ於テモ議論ガアリマシタコトハ
皆サン御承知ノ通りデアリマスルガ、其當
時唯今ノ内務當局ニ居ラレル湯淺君ナドガ
頗ル御反對ノヤウナ意見ニ本員ハ聞及シデ
居ッタノデアリマス、今日ハ其方ガ朝ニ立タ
レテ此法案ヲ必要ト認メラレタト云フコト
ハ誠ニ私ハ喜ブノデアリマスガ、甚ダ遺憾ニ
考ヘマスコトハ其當時ノ其法案ガ成立テ居
リマシタナラバ、餘程今日ノ情勢ニ進ムコ
トガ防ゲテ居ッタデハナイカト考ヘルノデ
アリマス、此點ハ極メテ遺憾ニ考ヘマス
ガ、併ナガラ遲カリシト雖モ今日此案ヲ御
提出ニナッタト云フコトハ、何等ノ異議ヲ
持チマセヌ、唯過日來申上ダマスル通り宣
傳煽動ト云フコトガ極メテ微細ナ點ニ行ク
ト、宣傳ノ方ガ却ッテ危險ヲ廣ク撒キハセヌ
カト云フヤウナ事例ガ多ク出テ來ルデアラ
ウト考ヘルノデアリマス、勿論御説明ノ如ク
證據ガ苟モ此一條ニ觸レルモノガアリマ
スレバ何等ノ問題モアリマセヌガ、アガラズ
ト雖モ殆ド同様ノ程度マデニ事柄ガ行ハレ
ルデアラウト思ヒマス、其場合ハ平素餘リ
法ヲ嚴重ニ御解釋ニナルト云フコトハ絕對
ニ好ム譯デアリマセヌガ、併シ斯ウ云フ
方面ニ付キマシテ出來ルダケ嚴肅ナ解釋ヲ
御取リニナルヤウニ政府ニ希望イタシテ置
キタイト思ヒマス、ソレカラ又過日本員カ
ラ希望の御尋シマシタヤウニ兎角今日ノ
司法官ガ或ハ爲ニスル新聞紙デアルトカガ
世間ノ輿論デアアルカノ如ク考ヘラレテ來
テ、刑ヲ輕減スルト云フコトガ、非常ニ取
締リノ上ニ齟齬ヲ來シハセヌカト云フコト
ヲ恐レルノデアリマス、是ハ出來ル限リ嚴
重ニヤツテ行ク積リダト云フ司法大臣ノ御
言明デ分リマシタガ、尙此點ハ十分政府ニ
御考慮ヲ願ヒタイ、ソレカラ先程モ申述ベ
マシタル政府ニ於テハ無論カ、ル法律ヲ實

貴族院ニ於テモ議論ガアリマシタコトハ
皆サン御承知ノ通りデアリマスルガ、其當
時唯今ノ内務當局ニ居ラレル湯淺君ナドガ
頗ル御反對ノヤウナ意見ニ本員ハ聞及シデ
居ッタノデアリマス、今日ハ其方ガ朝ニ立タ
レテ此法案ヲ必要ト認メラレタト云フコト
ハ誠ニ私ハ喜ブノデアリマスガ、甚ダ遺憾ニ
考ヘマスコトハ其當時ノ其法案ガ成立テ居
リマシタナラバ、餘程今日ノ情勢ニ進ムコ
トガ防ゲテ居ッタデハナイカト考ヘルノデ
アリマス、此點ハ極メテ遺憾ニ考ヘマス
ガ、併ナガラ遲カリシト雖モ今日此案ヲ御
提出ニナッタト云フコトハ、何等ノ異議ヲ
持チマセヌ、唯過日來申上ダマスル通り宣
傳煽動ト云フコトガ極メテ微細ナ點ニ行ク
ト、宣傳ノ方ガ却ッテ危險ヲ廣ク撒キハセヌ
カト云フヤウナ事例ガ多ク出テ來ルデアラ
ウト考ヘルノデアリマス、勿論御説明ノ如ク
證據ガ苟モ此一條ニ觸レルモノガアリマ
スレバ何等ノ問題モアリマセヌガ、アガラズ
ト雖モ殆ド同様ノ程度マデニ事柄ガ行ハレ
ルデアラウト思ヒマス、其場合ハ平素餘リ
法ヲ嚴重ニ御解釋ニナルト云フコトハ絕對
ニ好ム譯デアリマセヌガ、併シ斯ウ云フ
方面ニ付キマシテ出來ルダケ嚴肅ナ解釋ヲ
御取リニナルヤウニ政府ニ希望イタシテ置
キタイト思ヒマス、ソレカラ又過日本員カ
ラ希望の御尋シマシタヤウニ兎角今日ノ
司法官ガ或ハ爲ニスル新聞紙デアルトカガ
世間ノ輿論デアアルカノ如ク考ヘラレテ來
テ、刑ヲ輕減スルト云フコトガ、非常ニ取
締リノ上ニ齟齬ヲ來シハセヌカト云フコト
ヲ恐レルノデアリマス、是ハ出來ル限リ嚴
重ニヤツテ行ク積リダト云フ司法大臣ノ御
言明デ分リマシタガ、尙此點ハ十分政府ニ
御考慮ヲ願ヒタイ、ソレカラ先程モ申述ベ
マシタル政府ニ於テハ無論カ、ル法律ヲ實

行サレルノニ齟齬スルト云フヤウナコトハ
アル筈ガアリマセヌガ、兎角當局ニナリマ
スルト云フト、往々枝葉ニ議論ヲ生ジマシ
タリ、從テ其施行ガ手スルクナリマシタ
リ、時ヲ失フヤウナ場合ノ實例ガ今日マデ
多クアルノデアリマス、カ、ルコトハドウ
カ絶對ニ將來ナイヤウニ十分ニ御訓令ト云
フカ御戒飭ヲ願フテ置キタイト思フノデア
リマス、而シテ他ノ一面ニ於キマシテ、既
ニ我國體ト云フモノハ絶對的ノモノデト云
フ以上ハ、絶對的ノモノデナケレバナラ
ズ、又絶對的ノモノデアラウト私共ハ考ヘ
ルノデアリマス、六十年七十年ヲ經マシテ
モ其國體ノ變ルベキ筈ハナイ、既ニサウ云
フ有難ハ國體デアリマスル以上、之ヲ學者
ノ間ニ研究シテ見ルト云フコトニモ、私共
ハ是ハ實ハ御差止メヲ願ヒタイ位ニ考ヘル
ノデアリマス、勿論社會主義ノ研究ヲスル
ト云フヤウナコトヲ指スノデハアリマセ
ヌ、此法案ノ目的トサレテ居ル精神ニ觸レ
ルヤウナ研究モ何等カノ制限ガ欲シイ、況
ンヤ其研究ヲ發表サレルト云フガ如キハ、
十分ニ一ツ政府ニ於カレテハ相當ナル考案
ヲ御廻ラシニナルヤウニ私ハ思フノデアリ
マス、同時ニ又先刻御説明ニアリマシタ
ク、一面ニハ失業者デアルトカ、貧困者デ
アルトカ云フヤウナモノノ爲ニ、出來ル限
リ早ク相當ナル考慮ヲ回ラサレマシテ、所
謂貧困デアル、難儀ヲシテ居ル爲ニ知ラズ
識ラズ斯ウ云フ方ニ導カレルコトノナクナ
ルヤウニ御配慮ヲ願ヒタイト思フ、是ダケ
ノ希望ヲ以テマシテ私ハ本案ニ異議ハ持テ
マセヌ

切迫シテ居ルコトデアリマスルカラ之ヲ修
正スルト云フ事情ハ出來ナイコトデアルカ
ラシテ此案ニ賛成ヲ致シマスガ、私ハ矢張
リ希望條件トシテ委員會ニ於テ一ツ加ヘテ
貰フテ、ソレヲ委員長カラ報告シテ貰ヒタ
イ、ソレハデス、斯ル法案ガ必要ニナツテ
來ルト云フ事柄ハ誠ニ遺憾ノ次第デアリマ
スルガ、併シ事實ガ此法案ヲ必要トスルコ
トニナツタノデアルカラ是ハ已ムヲ得ナイ、
而シテサウ云フ事實ガ段々世ノ中ニ起
來タト云フ事柄ハ、其原因ヲ探究シテ見マ
シタナラバ、色々原因ハアリマセウガ、其
中ノ原因ノ一番主トナルモノハ多ク生活
難、飯ガ食ヘナイト云フ事柄ガ原因ノ一ツ
ノ主ナルモノデアラウト思フ、多數ノ原因
ノ中デモ：ソレデアリマスカラ、政府ニ
於カレテハ將來國民生活ノ安定ニ關スル法
案ヲ尙ホ一層研究サレマシテ、我六千万同
胞ガ飯ノ食ヘナイ者ガ成ルベグ少クナル、
即チ六千万同胞ノ中ノ最大多數ガ最大ノ幸
福ヲ享ケル、即チ國民生活ノ安定ト云フコ
トノ方策ニ付テ尙ホ一層政府ハ考究ヲセ
レタイ、サウシテ此冬ノ、此次ノ議會ニ何
トカソレ等ニ付テノ政策ノ成案ヲ出シテ戴
キタイト云フ希望ガ一ツデアリマス、他ノ
一ツノ希望ハ從來ト雖モ政府ハ思想善導ト
云フコトニ努メテ居フレルガ、尙ホ將來ハ
一層、モウ少シ徹底的ニ思想善導ト云フコ
トニ付テ努力ヲセラレタイ、此二ツノ希望
條件ヲ付シテ、此案ニ賛成イタシタイト思
ヒマス、ソレカラモウ一ツハ第一條ノ國體
ノ否認ト云フ此範圍ガ甚ダ不明確デアリマ
シテ、私ハ迷ヒマシタノデアリマス、此解
釋ニ付キマシテハ司法大臣ノ明快ナル御答
辯ニ依ツテ此解釋ノ範圍ヲ明カニシタノデ
アリマス、即チ領土權ノ一部ニ於テ、即チ
領土權ノ此一區域ニ於テ統治權ヲ否認スル

事柄モ國體ヲ否認スルト云フコトニナル、
モウ一ツハ統治權其モノ、一部ヲ否認スル
コトモ、國體否認ト云フコトニナルト云フ
コトニ付テ、明瞭ナル司法大臣ノ御答辯ヲ
得マシテ、サウシテ此國體否認ト云フ範圍
ガ大體ニ於テ明ニナツタノデアリマスルカ
ラ、此解釋ト云フコトハ本案ニ對シテハ非
常ニ重大ナ關係ヲ有テ居ルト思ヒマスカ
ラ、委員長ハ此質疑應答ノ關係ヲ明瞭ニセ
ラレテ報告セラレタイト云フ意見ヲ以テ
居リマス、ドウゾ御賛成アラムコトヲ希望
イタシマス

○男爵黑田長和君 私モ此治安維持法ヲ通
過セシメテ、法律トナサナケレバナラナ
イ今日ノ時勢デアアルコトヲ深ク悲シムモ
デアリマス、私モ今日此社會ノ狀勢カラ考
ヘマシテ、斯カル法規ハドウシテモ必要デ
アラウト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、
是ハ誠ニ私ハ悲シムベキコトデアルト考ヘ
マス、唯今湯地君カラ二ツノ希望ヲ述べ
レマシタガ、私モ非常ニ之ニハ賛成デアリ
マス、宜シク是ハ全會一致ノモノト云フコ
トニナリタイト云フコトヲ切ニ私ハ考ヘル
ノデアリマス、唯今仰セニナリマシタ如ク、
申上ゲルマデモナク此治安維持法ト云フヤ
ウナモノヲ要スルニ至リマシタ主モナル理
由ハ、即チ國民生活ノ安定ヲ缺イテ居ル爲
ニ、色々ノ危險ナル思想ニ國民ハ導カレ易
イト云フコトカラ、斯カル狀態ニ社會ガ墮
シテ行ツタト云フコトヲ考ヘマスノデアリ
マス、而シテ治安維持法ト云フモノハ消極
的ニ犯罪ノアツタ時ニ之ヲ罰スルト云フノ
デアリマシテ、國民生活ノ安定ヲ圖ルト云
フコトハ、積極的ニ斯カル法律ニ觸レルヤ
ウナ者ヲ少ナカラシムルト云フ努力デアリ
マス、ソレ故ニ此二ツハ即チ消極ト積極ノ
兩方面ハ是非非常ニ何レモ大事ナコトデア

リマス、何レモ輕シズルコトノ出來ナイモ
ノデアリマス、故ニ一方ニ於テ消極的ニ斯
カル法案ガ提出サレマスルナラバ、一方ニ
於テ積極的ノ努力ヲセラレナケレバナラヌ
ト云フコトハ、是ハ明瞭ナコトデアリマス、
此點ニ付テハ湯地君ノ御説ニ全然賛成デア
リマス、又思想善導ト云フコトニ付テモ私
ハ歐洲大戰以後ヨリ、即チ大戰ノ終熄當時
ヨリ非常ニ心配シテ居タモノデアリマス、
サウシテ今日ニ至ルマデ爲政者ノ執リマシ
タ態度ハ私ハ非常ニ満足ナルモノデナカ
タト云フコトヲ申サナケレバナラナイノデ
アリマス、故ニ此點ニ付テモ一層意ヲ用イ
ラレマシテ、思想善導ニ努メラレルト云フ
コトハ、是ハ非常ニ必要ナコトト思ヒマ
ス、ソレ故ニ此二ツノ點ニ於ケル湯地君ノ
御希望ニ對シテハ、全然私ハ賛成デアリマ
シテ、此以上ニ此委員會全會一致ノ希望ト
シテ、本議場ニ報告セラレタナラバ一層結
構ナコト、思ヒマスノデ、大イニ其希望ヲ
有テ居リマス

○男爵大井成元君 私ハ本案ニ關シマシテ
ハ質問應答ノ際申上ゲマシタ如ク、若干ノ
不備ナ點ヲ感ジテハ居リマスルガ、併ナガ
ラ承リマスルト、今日ノ形勢、本案ノ如キ
モノヲ御制定ニナルノハ是ハ止ムヲ得ナイ
モノト信ジマスルガ故ニ、全部無條件ニ贊
成イタシタイト思ヒマス、唯繰返シテ政府
ニ御注意ヲシテ置キタイコトハ、矢張り質
問ノ際申述べマシタ如ク、軍隊精神ノ崩壞
サセルト云フコトハ頗ル重大ナコトデアリ
マスルカラ、是等ニ向テ惡宣傳ヲ爲ス所
ノ者ヲ注意シテ御取締リニナルト云フコト
ニ、一層ノ御注意ヲ願ヒタイト思フノデア
リマス、司法大臣ノ御説明ニ依リマシテ、
サウ云フ必要ハ感ジテ居ルガ、今マダ事例
ノ著シイモノヲ見ナイカラ、注意シテ其必

要ガ生ズル時分ニハ何等カニ適切ナ處置ヲ執ルト、斯ウ云フ意味ノ御回答アリマスルカラ、私ハ其政府ノ御考ヲ信ジタイト思フノデアリマス、又本案ヲ通過サセル上ニ付テ、前來湯地委員黒田委員カラ附帶決議ト云フガ如キ御意見ガアリマシテ、至極其御趣意ノアル所ハ御尤モノヤウニ考ヘマシテ、私モ亦其御趣意ニハ少シモ異存ハナイノデアリマス、併ナガラ既ニ今日マデ本院ニ於キマシテ質疑應答ノ上デ伺ヒマシタシ、又衆議院ニ於ケル速記録ニ依ッテ見マシテモ思想ヲ善導スルガ如キ、乃至ハ國民ノ生活ヲ安定シナケレバナラヌト、ソレガ爲ニ色々ノ施設經營ヲシテ、國家ヲ泰山ノ安キニ置カナケレバナラヌト云フガ如キコトニ付テハ、最早十分ニ論議ヲ盡サレテ、政府當局ノ御方ノ御答辯ニ依リマシテモ、何方デモ其趣旨ニハ反對ノ御方ハナイヤウニ私ハ認メルノデアリマス、内務大臣ニシロ文部大臣ニシロ乃至ハ司法大臣ニ於カレマシテモ全然御同感ノヤウデアリマシテ、又政府ニ於テ出來ルダケノコトハ必ズスルト、斯ウ云フヤウナ御説明デアルト致シマスルナラバ、其以上ニ尙ホ我々ガ疑フト云ッテハ可笑シウゴザイマセウガ、尙ホ十分ニ了解ヲ與ヘズシテ、屋上屋ヲ架スルト云フガ如キ態度ニ出ルト云フコトハ、幾分カ政府ニ對シテ十分ノ信任ヲ與ヘナイト云フガ如キ氣味ヲ含シテ、此法案ヲ通過サセルト云フ上ニ付テ大シタ異存ガナイナラバ、私ハ之ヲ無條件ニ賛成シタ方ガ適當デハナイカト、斯ウ云フ考ヲ有ッテ居リマス、テヨット意見ヲ申上ゲテ置キマス

○國務大臣(小川平吉君) 此際テヨット意見ヲ申上ゲテ見タイノデアリマスガ、先刻岡君ヨリ御話ノ點ハ午前ニモテヨット申上ゲヤウト思ッテ機會ヲ失ッタノデアリマス

ガ、警察ト司法部ノ連絡トニ付テハ實ハ岡君ノ御懸念ノヤウナコトガ今日マデ往々アツタノデアリマシテ、私共遺憾ニ存ジテ居リマシタ、先般來内務大臣トモ寄リ協議ヲ致シマシテ、此點ニ付テ例ハ暴行事件ノヤウナコトニ付テモ、能ク一ツ歩調ヲ一ニシテ敏捷ニヤラウト云フ相談ヲ致シテ居リマス、既ニ一二ノ事柄ニ就テハ事實ニ之ヲ行シタ、私ガ就任シテカラ後ニモ有ルヤウナ次第デアリマスカラ、本案ノ如キ重大ナル法律案ガ通過シマシタ以上ハ、ドウカ、當局各方面トモ連絡ヲ圓滑ニシテ迅速ニ働イテ、法ノ目ノ達スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマスカラ、此場合申上ゲテ置キマス、而シテ此湯地君ノ御意見デゴザイマスルガ、之ニ就テ一言申上ゲテ置キタイノハ私ノ方ノ希望ト致シマシテハドウカ此法案ガ無條件デ通過スル程、是レ程希望スル所ハナイノデゴザイマス、無條件デ大多數デ通過スレバスル程一部ノ此不穩ナル考ヲ持ッテ居タ人達ニ對シテモ亦一般ノ人達ニ對シテモ大層具合宜イカト考ヘテ居リマス、先般既ニ衆議院ニ於テモ最後ノ場合ニハ各政黨政派皆一致シテ賛成ヲスルコトニナリマシテ、僅カナ十數名ノ人ガ反對ヲ致シタト云フ譯デ、非常ニ此本案ノ信用ト申シマスルカ、國民ノ多數ノ希望ノ強イ熱烈デアアルコトハ分リマシタノデ、之ガ餘程各方面ニ感ジタト見エテ、最近私ノ間キ知リマシタ事柄ニ依ルト、既ニ此不穩ナルヤウナ考ヲ持ッテ團體ヲ拵ヘヤウト思ッテ居タ者ガ、此法案ノ非常ナ勢ヒヲ以テ通過スルト云フコトニ就テ、是等ノ輩ガ解散ヲシタト云フヤウナ事實モアル、ソレカラ印刷物ナドノ計畫ヲシテ居タモノガ止メタト云フ意味ノ報告ニ接シテ居ルヤウナ次第デアリマス、此法案ガ大多數ノ熱心ナル

賛成ニ依ッテ通過スルト云フコトニナルコトハ最も私ノ希望スル所デアリマス、併ナガラ湯地君ノ御述ベニナリ、黒田男爵ノ御賛成ニナリマシタ御趣意ハ、是ハ申ス迄モナク全然賛成デコロデハナイ、之ニ努メテ居ル次第デアリマシテ政府ニ於テ何人モ全ク之ニ對シテハ御同感ノ次第デアアルノミナラス、私ガ本會議ニ於テモ申上ゲマシタル如ク國民生活ノ安定ト云フガ如キコトハ私ハ政治ノ大部分ヲラウト思ッテ居ル、殊ニ我國ニ於テハ御歴代ノ天皇皇國民ノ生活ヲ安定セシムルト云フコトヲ政治ノ大目的トシテ御居デニナッタヤウナ譯デアリマシテ、政治ノ方ハ大部分ハ私ハソレグラウト思フ、例ヘバ學校ノ如キハ勿論デゴザイマセウガ、交通機關ノ設備ニ致シマシテモ産業ノ發展ニ致シマシテモ、之ヲ皆目的トシテ居ルト云フコトハ私ハ言ヒ得ルト思フ、今日デモ其通りデ、生活ノ安定ト云フコトハ政府ノ仕事ノ大部分デヤナイカト思フ、併ナガラ是ハ政府ダケノ仕事トハ無論參リマセヌ、國民自身ガ奮發シテ貫ハヌト近頃ノ或ル部類ノ人々ノ如キ、多クノ人デハアリマスマイガ、或ル部分ノ人ハ何デモ遊シテ居ッテ食ヒタイ、困レバ直グニ政府ニ助けヲ呉レ、甚ダシキニ至ッテハ人ノ財産ヲ取ラウト云フノガ社會主義デアアル、サウ云フコトデ思想ハ一部ニ於テ誠ニ良クナイト思フ、政府トシテハ當然ノコトデアリマスカラ生活ノ安定ニ努メルノハ無論デアリマスガ、困ッテ來ルト直グ政府ニ助けヲ呉レト云フコトハ、是ハ私ハ非常ニ惡ルイト思フ、國民ガ自分デ自分ノ食フコトヲ目的トスルノハ本則デアラウト私ハ思フ、而シテ後ニ居カヌ所ハ政府ガ助けルト云フノガ原則デアラウト思フ、故ニ今日ハ成程經濟界ノ變遷等ニ依ッテ普通ノ場合ヨリモ困ッテ居ルモ

ノモアリマセウケレドモ、併ナガラ政府ノ事業ト云フモノハ、大體ニ於テ國民生活ノ安定ヲ計ル、之ガ大部分ノ仕事グラウト私ハ考ヘテ居ル、思想ノ善導モスルノデアリマス、故ニ唯今大井男爵ノ御話ノアツタヤウニ全ク當然ノコトデアアル以上ハ、私ハ此法律案ノ通過ノ條件ト云フヤウナコトニハ、出來得ルナラバ無條件デ、法律ノ通過スルコトヲ私ハ成ルベク御賛成ヲ願ヒタイ、御趣意ニ於テハ全然御同感、御希望ノコトニ就テハ全力ヲ盡シテ御希望ニ副フヤウニ努メルコトハ是ハ茲ニ私ガ明ニ聲明ヲ致シテ置キマス、成ルベク本案ニハ條件ナシニ通過スルト云フコトヲテ惣張ツタヤウデアリマスケレドモ、腹藏ノナイ意見ヲ申上ゲテ御參考ニ致シマス

〔速記中止〕

○委員長(公爵一條厚基君) 速記ヲ始メテ、御意見ガゴザイマセヌケレバ全部ヲ一括シテ決ヲ採リタイト思ヒマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(公爵一條厚基君) ソレデハ全部ヲ一括イタシマシテ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者總員〕

○委員長(公爵一條厚基君) 全會一致ト認メマス、可決イタシマシタ、是デ散會イタシマス

午後二時五十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵一條 厚基君
副委員長 男爵田 健治郎君
委員 伯爵堀田 正恒君
男爵大井 成元君

子爵伊東 祐弘君	子爵大河内輝耕君	子爵板倉 勝憲君	渡邊 暢君	岡 喜七郎君	男爵福原 俊九君	男爵黒田 長和君	南 弘君	湯地 幸平君	土田 萬助君	國務大臣	內務大臣 若槻禮次郎君	文部大臣 岡田 良平君	司法大臣 小川 平吉君	政府委員	內務省警保局長 川崎 卓吉君	司法省刑事局長 山岡萬之助君
----------	----------	----------	-------	--------	----------	----------	------	--------	--------	------	-------------	-------------	-------------	------	----------------	----------------

大正十四年四月六日印刷

大正十四年四月七日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局